

遠隔臨場システム Gリポート

ユーザマニュアル



第 1.3 版

株式会社 GRIFFY
(共同開発 株式会社中山組)

内容

1.	ご利用の前に	4
1.1.	Gリポートで出来る事	4
1.2.	現場側で出来る事	5
1.3.	検査側で出来る事	6
1.4.	システムの特徴について	7
1.5.	利用可能なブラウザ	8
1.6.	内容物(標準)	9
1.7.	有料オプション品	10
2.	遠隔臨場の準備をする	11
2.1.	充電を行う	11
	Gリポート端末の充電	11
	ジンバル本体の充電	11
	ジンバル本体のステータス表示について	12
	ジンバルの動作モードについて	14
2.2.	組み立て方法	15
	ジンバルの各部の名称	15
	Gリポート端末にマグネットクランプを取り付ける	17
	Gリポート端末をジンバル本体に取り付ける	17
	三脚を取付ける	18
2.3.	Gリポート端末から遠隔臨場を開始する	19
	Gリポート端末の画面の名称	20
	Gリポート端末のボタンについて	21
	遠隔臨場を開始する	22
	遠隔臨場を終了する	23
2.4.	検査側端末から遠隔臨場を開始する	24
	検査側端末の画面の名称	24
	臨場を開始する	25
	遠隔臨場を終了する	27
3.	基本操作	28
3.1.	ジンバルの使い方	28
	ジンバルの起動	28
	ジンバル本体のトリガーボタンの使い方	30
3.2.	遠隔臨場中のGリポート端末の使い方	31
	Gリポート端末 遠隔臨場中の画面の名称	31
	接続状態のみかた	32
	解像度について	33

Gリポート

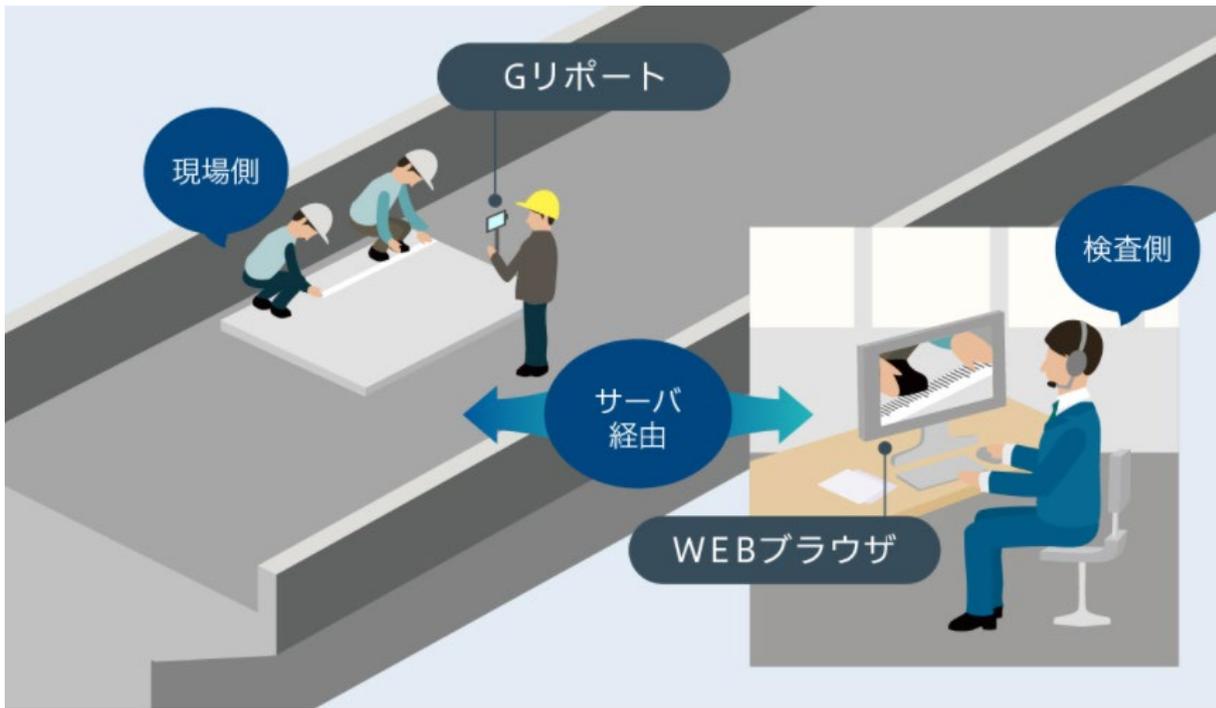
フレームレートについて	33
マイクについて	34
写真撮影について	35
カメラ切替について	35
臨場終了について	36
3.3. 遠隔臨場中の検査側端末の使い方	37
検査側端末 遠隔臨場中の画面の名称	37
遠隔臨場の終了について	38
解像度について	38
マイクについて	38
クラウド録画	39
マーキング	39
クラウド録画の停止	40
ローカル録画	41
ローカル録画の停止	42
ローカル録画で保存した動画ファイルの閲覧方法	42
ローカル録画の制限事項	43
写真撮影	43
4. 録画した動画の活用	45
4.1. 動画を再生する	45
クラウド録画の保存期間について	46
4.2. マーカーを使って再生する	47
4.3. 動画を保存する	48
4.4. 500MB を超える動画のダウンロードについて	49
4.5. 動画の一部を切り出す(トリミング)	50
時・分・秒を指定してトリミングする方法	50
マーキングの位置を利用してトリミングする方法	51
4.6. 動画から静止画を作成する	53
4.7. 動画のファイル名を変更する	54
4.8. 動画を削除する	55
すべての動画を一括で削除する場合	56
5. 静止画の活用	57
5.1. 静止画を確認する	57
静止画の種類	58
5.2. 静止画を保存する	59
すべての静止画を一括で保存する場合	59
5.3. ファイル名を変更	60
5.4. 静止画を削除する	61

Gリポート

すべての静止画を一括で削除する場合	62
6. システム環境の変更	63
6.1. 解像度を変更する	63
Gリポート端末の設定	63
検査側端末での変更方法	64
【参考】変更できるサイズとサイズの目安	64
外付けカメラの解像度の変更と特徴について	65
6.2. 画面を縦に変更する	66
6.3. パスワードを変更する	67
7. 有料オプションのご利用	68
7.1. 外付けカメラを使う	68
こんな画面が出てきたら	70
Gリポートの画面	70
フレームレートを変更する	70
フレームレートとは	71
7.2. Bluetooth イヤホンを使う	72
8. ソフトウェアアップデート	73
Gリポート端末のバージョンについて	73
自動バージョンアップ	73
Gリポート端末起動時の更新プログラム受信	74
9. 検査側端末のネットワーク環境	75
10. 動作がおかしい時	76
10.1. 通信ができない	76
Gリポート端末の回線速度の確認方法	76
検査側端末の利用状況の確認方法	77
検査側端末の回線速度の確認方法	79
10.2. ジンバルが正常に動作しない	80
10.3. Gリポートの画面が表示されない	81
遠隔臨場システムのアプリが自動表示されない	81
10.4. 「Select Language」画面が表示された	84
10.5. トラブルシューティング	85

1. ご利用の前に

1.1. Gリポートで出来る事



発注者による目視確認、「階段確認」「材料確認」「立会」を遠隔でスムーズに実行可能とすることで、受発注者双方の業務効率化を図るとともに、契約の履行状況、施工履歴を映像として適切に管理することが可能となります。遠隔臨場検査では、メジャーの目盛りを確認する際にミリ単位の識別や連続した被写体の変更が必要になります。Gリポートは電子制御の3軸ジンバルを用いたハンディ撮影スタイルにより、自由度の高い画角調整や被写体への高い追従性、さらには手振れのない見やすい映像を実現しています。

1.2.現場側で出来る事

回線速度	Gリポート端末の回線速度の確認
アプリ設定	<p>フレームレートを設定することができます。</p> <p>起動時に前回使用した解像度を使用するか、標準(HD)の解像度を利用する設定ができます。</p> <p>詳細は「6.1 解像度を変更する - Gリポート端末の設定」を参照ください(録画中の変更はできません)。</p>
スマホ設定	オプションの Bluetooth イヤホンマイクを使用する時に Bluetooth 接続設定を行います。
内蔵カメラ/USB カメラ 起動	遠隔臨場を開始します。
マイクの ON/OFF	マイクの ON/OFF を画面で切り替えることができます。
写真撮影	<p>写真撮影し、撮影した画像はクラウドに保存されます。</p> <p>また、録画中に写真撮影したタイミングには印(マーカ)が記録されます。</p>
カメラの切り替え	<p>アウトカメラとインカメラの切り替えを行うことができます。</p> <p>(内蔵カメラ利用時のみ)</p>

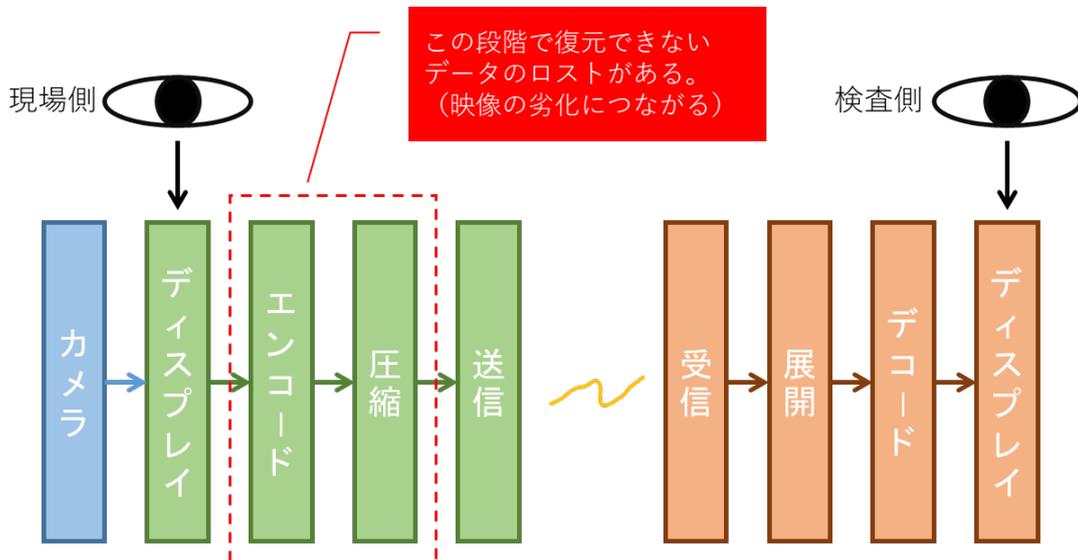
1.3. 検査側で出来る事

遠隔臨場	遠隔臨場を開始できます。
解像度の変更	解像度を変更できます。 録画中は変更できません。 一度、録画を停止してから変更します。
マイクの ON/OFF	マイクの ON/OFF を切り替えることができます。
クラウド録画	動画をクラウドに保存できます。
ローカル録画	動画をローカル(使用している端末)に保存できます。
写真撮影	写真撮影し、撮影した画像はクラウドに保存されます。 また、録画中に写真撮影したタイミングには印(マーカ)が記録されます。
終了	遠隔臨場を終了できます。
動画確認	録画開始から停止するまでの動画を1ファイルとしてサーバに保存されます。動画のダウンロードや動画のトリミング、動画から静止画の切出しなどの管理操作ができます。
静止画確認	写真撮影した内容が保存されています。 ファイル名の変更や拡大表示での確認、ダウンロード、ファイル削除などの管理操作ができます。
パスワード変更	パスワードを変更することができます。
閲覧端末数	1台のGリポート端末に、 4 台まで検査側端末を接続 ができます。

1.4. システムの特性について

Gレポートはシステム上の特性上、現場側で見ている映像と検査側で見ている映像の品質（映像の鮮明さや滑らかさ）に差が生じます。

以下の図は、現場側で撮影した映像が検査側へ送信される際に、システム内部で行われている工程を模式的に示したものです。



現場側のGレポート端末で表示されている映像は、カメラが撮影した映像が直接表示されているため、非常に鮮明で滑らかな映像となります。ですが、この映像のデータ量は膨大で、そのままネットワーク配信することはできません。

そのため、検査側へ送信する前にデータ量をコンパクトにして、円滑にデータ送信できるようにする機能がGレポート端末には備わっています。ですが、その機能が動作する過程で、避けることのできない映像の劣化が発生します。この劣化は、撮影しているシーンの動きが激しいほど顕著で、静止状態では劣化が少なくなるという特徴があります。

また、現場側のネットワーク通信速度も、映像の劣化に対して大きな影響を持っています。

通信速度が速い環境の場合、短時間に大量のデータ量を送信できるため、映像をあまりコンパクトにしなくても（撮影した品質に近い状態でも）送信ができますので、映像の劣化を最小限に留めることができます。

一方、通信速度が遅い環境の場合、短時間に送信できるデータ量に限りがありますので、映像をよりコンパクトにして、低い通信速度でもデータ送信ができるようにする必要があり、その場合は映像の劣化がより顕著になります。

遠隔臨場を行う際は、検査側で見ている映像の品質の違いを理解し、**現場担当者**と**検査者**が**しっかりとコミュニケーション**を行って**“解像度を調整”**し、**適切な映像配信ができている事を確認**するように心がけましょう。解像度の変更方法は「[6.1 解像度を変更する - 検査側端末での変更方法](#)」を参照ください。

1.5.利用可能なブラウザ

Windows7	GoogleChrome 最新版	
Windows8	GoogleChrome 最新版	
Windows 10 (2020Update 前)	GoogleChrome 最新版 Opera 最新版 FireFox 最新版	
Windows 10 (2020Update 後)	Edge 最新版 GoogleChrome 最新版	
iPad	iOS 13.5.1 以上 Safari 最新版	iOS 版 Chrome では動作しません。
iPhone	iOS13 以上	iOS 版 Chrome では動作しません。
Andoroid タブレット	GoogleChrome 最新版	

- ・有線もしくは無線 LAN によるネットワーク通信が利用可能なこと(必須)
- ・オーディオデバイス(マイク・スピーカー)が利用可能であること(必須ではない)
- ・カメラが利用可能であること(必須ではない)
- ・SXGA(1280 X 1024)以上の解像度を持つモニタ

1.6.内容物(標準)

<p>スマートフォン本体</p> <p>機種は下記（選択不可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HUAWEI 製 P30Lite ・OPPO 製 Reno3A ・SONY 製 XPERIA10 III Lite ・SONY 製 XPERIA10 IV ・SONY 製 XPERIA10 V <p>HUAWEI 製 P30Lite は非防水です。※他防水有。</p>	<p>スマートフォン用防水ケース</p> <p>※防水タイプのスマートフォンには付属いたしません。</p>
<p>スマートフォン用充電ケーブル(USB TYPE-C)</p>	<p>ジンバル本体</p> <p>機種 2 種(選択不可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DJI 製 OM4 SE ・DJI 製 OSMO MOBILE SE
<p>ジンバル用三脚</p>	<p>ジンバル用充電ケーブル(USB TYPE-C)</p>
<p>AC アダプタ</p> <p>※スマートフォン ジンバル併用</p>	<p>マグネットクランプ</p>

1.7. 有料オプション品

<p>外付けカメラ(手振れ補正あり) CX-WE100(Xacti 製)</p>  A black external camera with a lens on the left and a cable on the right. The brand name 'Xacti' is visible on the side.	<p>外付けカメラ(手振れ補正なし) ST#7CAM-02U(谷沢製作所製)</p>  A black external camera with a lens on the left and a cable on the right. It has a more complex, multi-faceted design than the Xacti model.
<p>Bluetooth イヤホンマイク</p>  A white Bluetooth earphone microphone with a curved ear hook and a microphone boom. The brand name 'KENWOOD' is printed on the stem.	

2. 遠隔臨場の準備をする

2.1. 充電を行う

Gレポート端末の充電



スマートフォンケース下部の「USB インターフェース」に「スマートフォン用充電ケーブル」を接続し、「スマートフォン用 AC アダプタ」を使用し充電してください。

充電の目安 3 時間

※環境により変化します。

スマートフォンの下部に「USB インターフェース」があります。

ジンバル本体の充電

共通



ジンバル本体の充電は、「ジンバル用充電ケーブル」とスマートフォン用に付属された「スマートフォン用 AC アダプタ」を使って充電してください。

充電の目安 2.5 時間

※環境により変化します。

「充電用 USB 端子」に「ジンバル用充電ケーブル」を接続して「スマートフォン用 AC アダプタ」を使用し充電してください。

DJI 製 OM 4 SE



DJI 製 OSMO MOBILE



充電ケーブルを挿したら、バッテリーインジケータが点滅します。電源オフ時はインジケータが消灯、電源オン時はインジケータが点灯します。

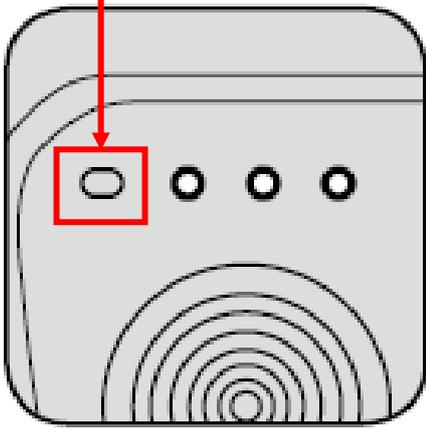
Gリポート

ジンバル本体のステータス表示について

DJI 製 OM 4 SE

左から一番目の LED ランプがシステムインジケータです。

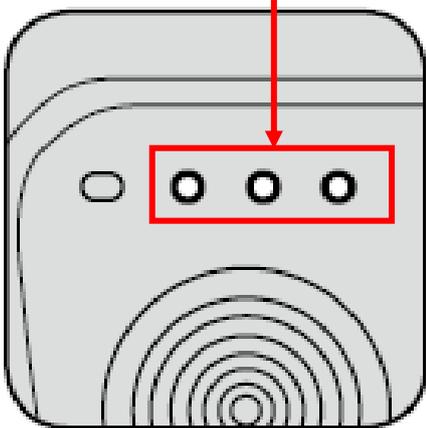
システムインジケータ(状態表示)



パターン	説明
緑色に点灯	正常
黄色 or 緑色に点滅	スタンバイモード
赤色に点灯	ジンバルの異常(高温・低音など)

スタンバイモードになっている場合は、Gリポート端末を取り付けていない状況です。

バッテリーインジケータ(バッテリー状況)



○ ○ ○	良好
○ ○ ●	少ない
○ ● ●	要充電

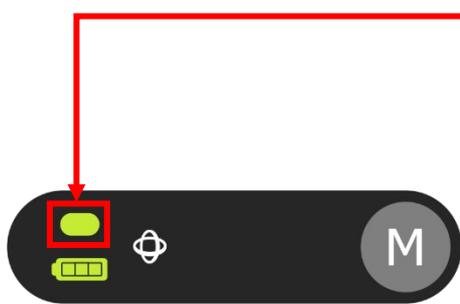
充電中	点滅
満充電	消灯

Gリポート

DJI 製 OSMO MOBILE SE

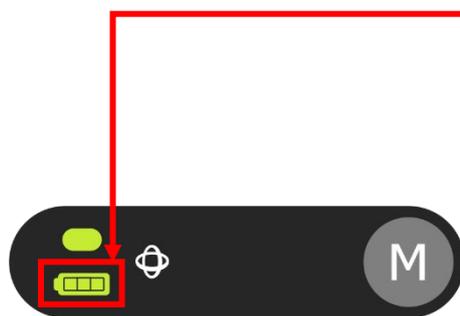
M ボタンの左側にステータスパネルがあります。

ステータスパネルには、ジンバルのシステム状態、電池残量、動作モードが表示されます。



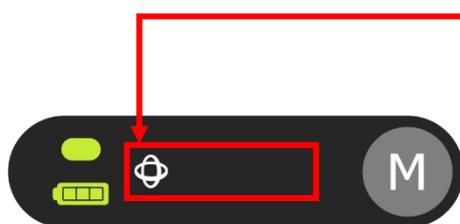
システムインジケータ(状態表示)

パターン	説明
緑色に点灯	正常
黄色 or 緑色に点滅	スタンバイモード
赤色に点灯	ジンバルの異常(高温・低音など)



バッテリーインジケータ(バッテリー状況)

パターン	バッテリー残量
緑色に点灯	61%以上
黄色に点灯	20%~60%
赤色に点灯	6%~19%
赤色に素早く点滅	5%以下(要充電)



動作モード

※説明は次のページをご覧ください。

ジンバルの動作モードについて

DJI 製 OSMO MOBILE SE のみ

DJI 製 OSMO MOBILE SE では、4 種類の動作モードを切り替えることができます。

動作モードが変わると、動作する回転軸の組み合わせが変わるため、ジンバルを傾けたときのスマートフォンの動き方が変化します。



回転軸の名称	説明
パン軸	この軸が動くと、スマートフォンが左/右の方向を向きます。
チルト軸	この軸が動くと、スマートフォンが上/下の方向を向きます。
ロール軸	この軸が動くと、スマートフォンが正面を向いたまま左右に傾きます。

M ボタンを短く一回押すと動作モードを変更することができます。

動作モードはステータスパネルのアイコンで確認することができます。

なお、ジョイスティックを動かすと、スピンショットモードでは画面の傾きが、それ以外のモードではスマートフォンの上下/左右方向への向きが変わります。

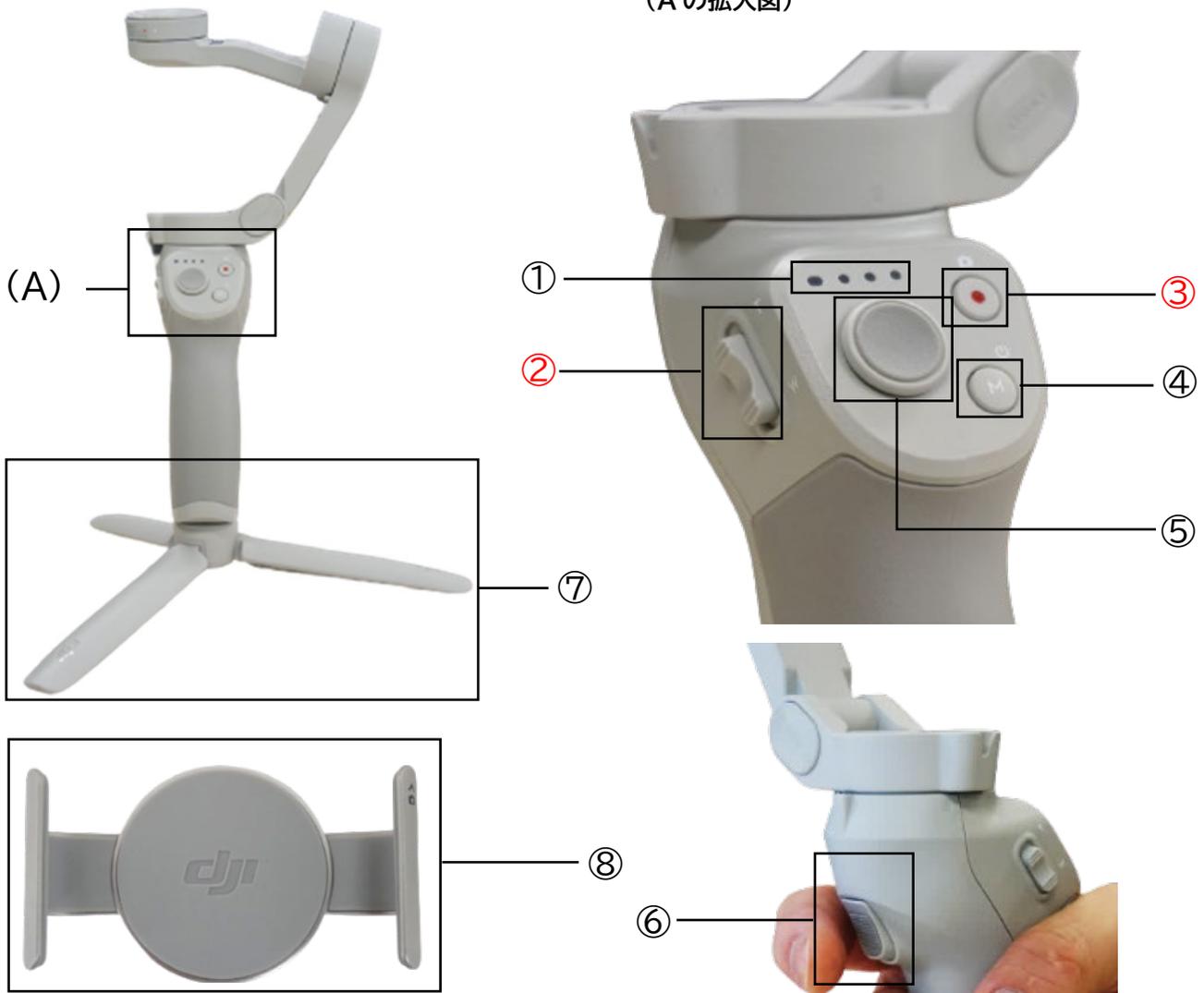
アイコン	モード名	説明
	フォロー	パン軸、チルト軸が動きます。 ジンバルの傾きに応じてスマートフォンは上下、左右を向きます。
	チルトロック	パン軸のみが動きます。 ジンバルの傾きに応じてスマートフォンは左右のみを向きます。
	FPV	全ての軸が動きます。 ジンバルの傾きに応じてスマートフォンは上下、左右を向き、画面も傾きます。
	スピンショット	全ての軸が動きます。 ジンバルの傾きに応じてスマートフォンは上下、左右を向き、画面も傾きます。

2.2. 組み立て方法

ジンバルの各部の名称

DJI 製 OM 4 SE

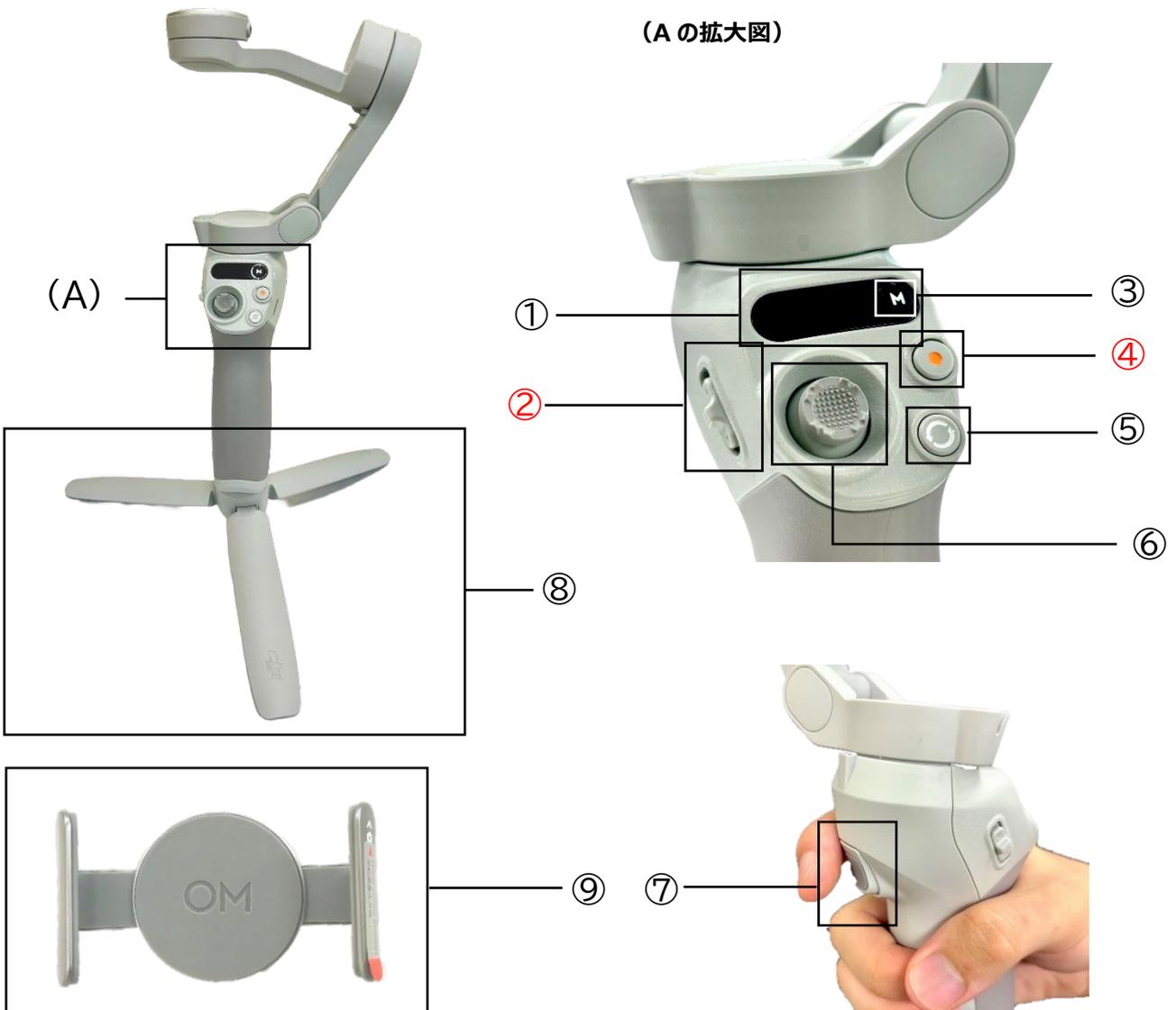
(Aの拡大図)



Gレポート

	名称
①	インジケータ(バッテリー/システム)
②	使用しません
③	使用しません
④	電源/Mボタン
⑤	ジョイスティック
⑥	トリガーボタン
⑦	三脚
⑧	マグネットクランプ

DJI 製 OSMO MOBILE SE



Gリポート

	名称
①	ステータスパネル(バッテリーインジケータ/システムインジケータ/動作モード)
②	使用しません
③	電源/Mボタン
④	使用しません
⑤	スマートフォン縦横切替ボタン
⑥	ジョイスティック
⑦	トリガーボタン
⑧	三脚
⑨	マグネットクランプ

Gリポート端末にマグネットクランプを取り付ける

スマートフォンの中央付近にマグネットクランプを取り付けます。

※スマートフォンの両サイドにある「電源ボタン」「音量ボタン」が押されないように中央部よりやや下に取り付けます。

Gリポート端末のサイドボタンがマグネットクランプで押されないように調整してください。

※機種によってボタンの位置が異なります(「[Gリポート端末のボタンについて](#)」を参照)。



図のように、マグネットクランプの向きを確認し、スマートフォンの中央付近に配置してください。マグネットクランプとスマートフォンの垂直ラインが一致するようにします。

Gリポート端末をジンバル本体に取り付ける

Gリポート端末に取り付けた「マグネットクランプ」と「ジンバル本体」のプレートマークを合わせ、Gリポート端末をジンバル本体に取り付けます。

Gリポート



マグネットクランプとジンバル本体のマグネットの方向を合わせて取り付けます。

それぞれ上部にミゾがあります。



Gリポート側

ジンバル本体側

三脚を取付ける



ジンバル本体と三脚の接続部を合わせて三脚を取り付けます(右回し)。



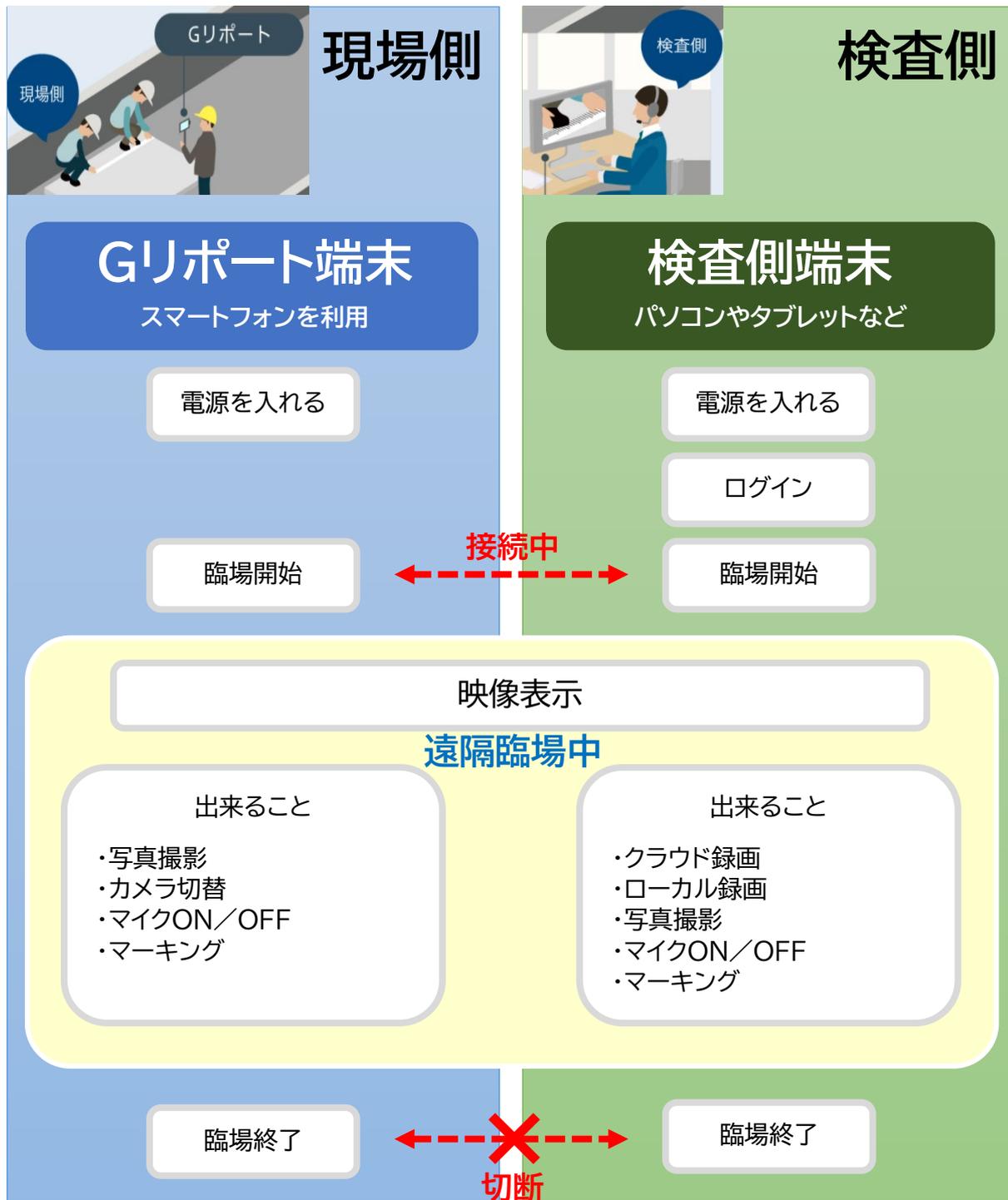
取り付け完了です。

※ Gリポート端末を取付けてからジンバルの電源を入れてください。

2.3. Gレポート端末から遠隔臨場を開始する

遠隔臨場を開始する時は、現場側の G レポート端末と検査側端末をそれぞれ起動し、接続が開始されている必要があります。

Gレポート端末だけでは、録画や静止画の記録はできません。



Gリポート端末の画面の名称

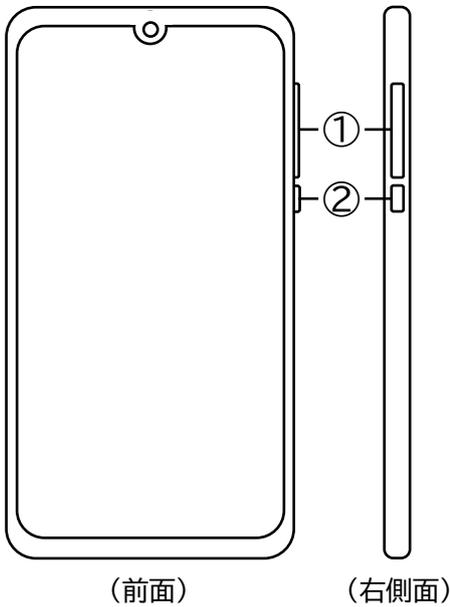


	名称	内容
①	Gリポート端末バージョン情報	Gリポート端末のバージョンを表示します。
②	回線速度	回線速度を計測できます。
③	アプリ設定	フレームレートや画面の縦・横の切り替えの設定ができます。
④	スマホ設定	Bluetoothイヤホン設定やデフォルトアプリの設定ができます。
⑤	タスクボタン	実行中のアプリを表示します。
⑥	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
⑦	バックボタン	ひとつ前に戻るボタンです。
⑧	内蔵カメラ起動	遠隔臨場を開始します。

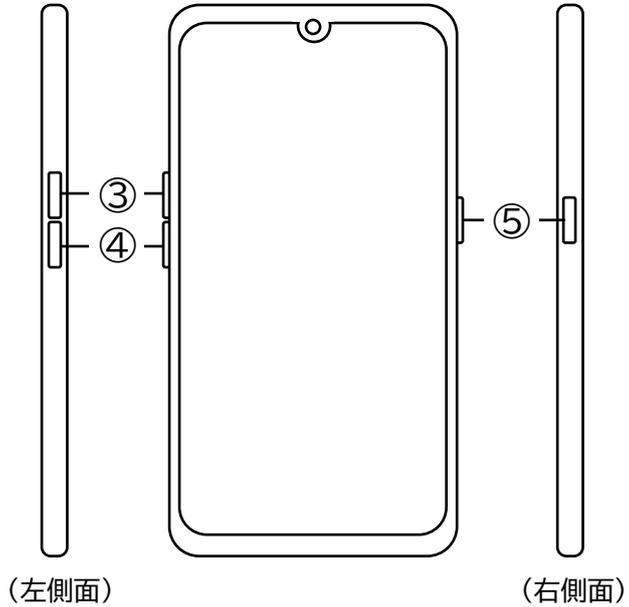
※機種によって表示が変わる場合があります。

Gレポート端末のボタンについて

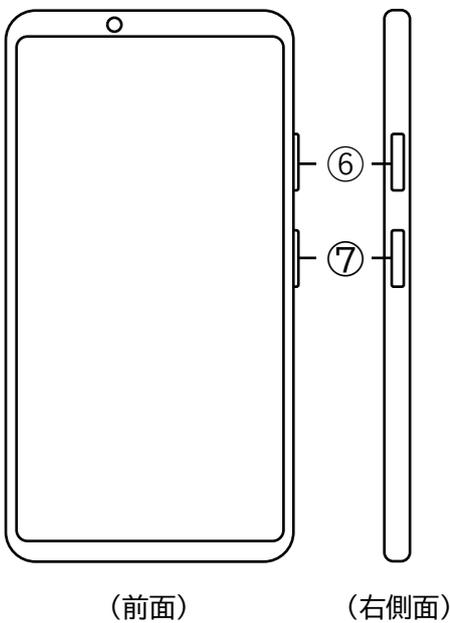
HUAWEI 製 P30Lite



OPPO 製 Reno3A



SONY 製 XPERIA10 シリーズ



HUAWEI 製 P30Lite	
①	音量ボタン
②	電源ボタン
OPPO 製 Reno3A	
③	音量ボタン(上)
④	音量ボタン(下)
⑤	電源ボタン
SONY 製 XPERIA10 シリーズ	
⑥	音量ボタン
⑦	電源ボタン

Gリポート

遠隔臨場を開始する



電源をいれる。
電源ボタンを長押しします。



ロック画面を解除します。
画面にふれて指を上動かします。



Gリポートアプリケーションが起動します。
「内蔵カメラ起動」をタップします



遠隔臨場が開始されます。

カメラが利用できる検査側端末(パソコン・タブレットなど)が接続されると、右下に検査側の画像が表示されます。カメラが利用できない検査側端末が接続された場合は、映像の表示はされません。

遠隔臨場を終了する



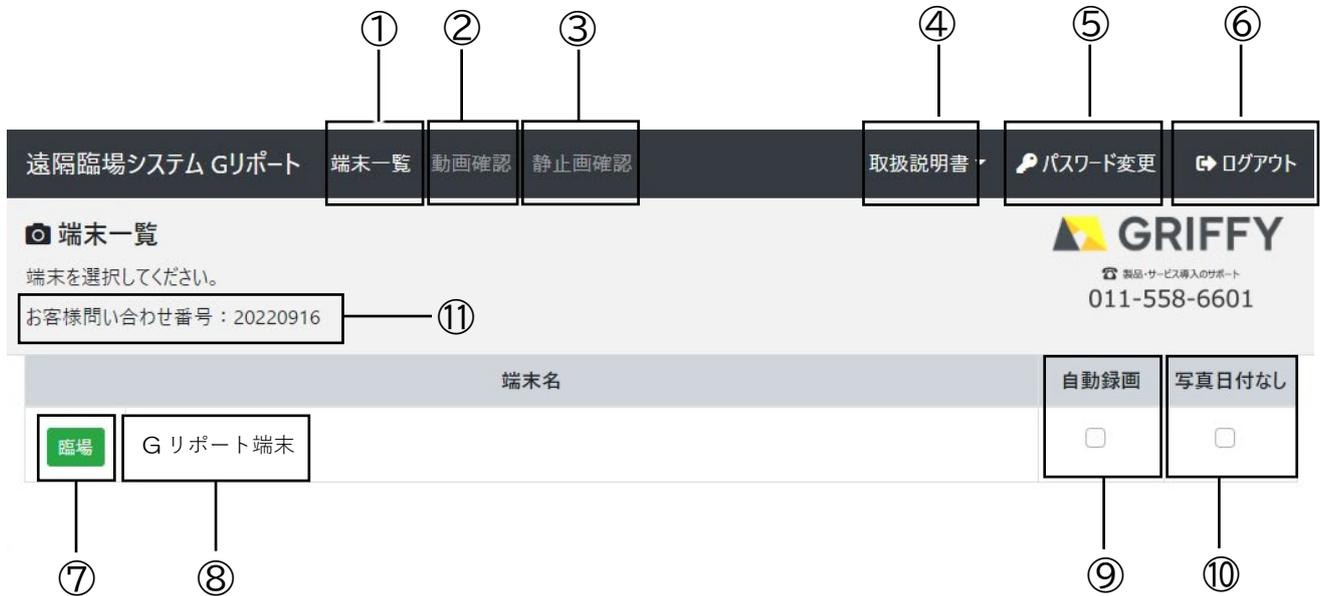
臨場終了ボタンは、誤操作防止のためスライド式になっています。



左図のように、白いスライダーを右方法にスライドすることにより、臨場の終了が行えます。

2.4. 検査側端末から遠隔臨場を開始する

検査側端末の画面の名称

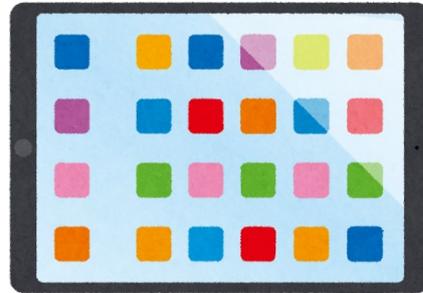


	名称	内容
①	端末一覧	ご利用中のGリポート端末を表示します。
②	動画確認	録画した動画を確認・編集できます。
③	静止画確認	撮影した静止画を確認・編集できます。
④	取扱説明書	取扱説明書を閲覧・保存・印刷できます。
⑤	パスワード変更	ログインパスワードを変更できます。
⑥	ログアウト	ログアウトします。
⑦	臨場	遠隔臨場を開始します。
⑧	カメラ名	ご利用中のカメラ名が表示されます。
⑨	自動録画	チェックを入れると、臨場開始すると自動的に録画を開始します。
⑩	写真日付なし	チェックを入れると、静止画に日付を表示しません。
⑪	お問い合わせ番号	弊社カスタマーサポートへの問い合わせ時に使用します。

臨場を開始する

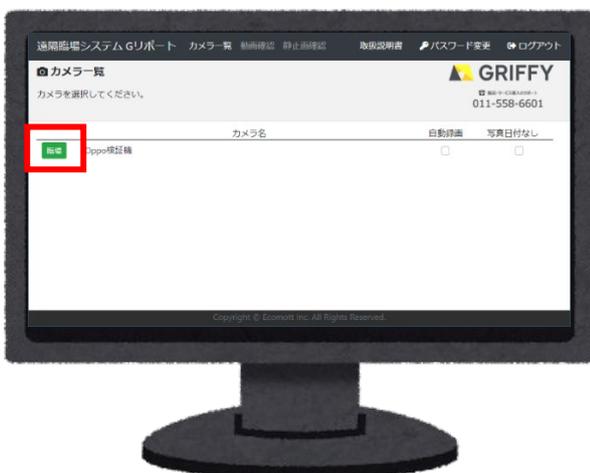


検査側の端末の電源をいれます。
(パソコンまたはタブレットなど)



遠隔臨場システムにアクセスします。
URL:<https://g-repo-cw.ecovms.com/>

ログイン ID とパスワードを入力してログインします。



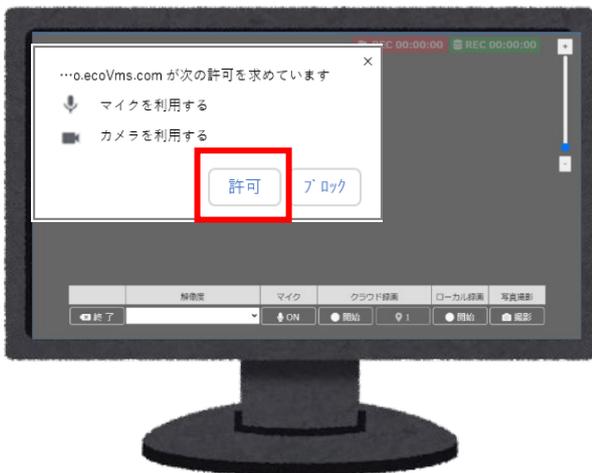
遠隔臨場システムのトップ画面を表示します。
「臨場」をクリックしてください。



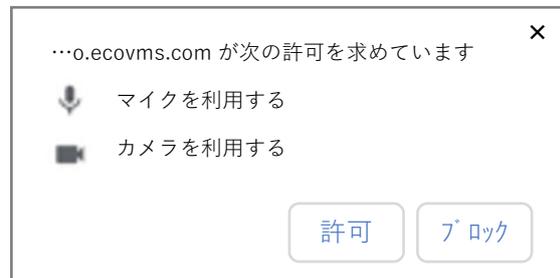
Gリポート



カメラとオーディオデバイスの有効状況をチェック中…と表示されます。



ポップアップが表示されたら「許可」をクリックします。ブロックするとカメラとマイクが利用できず、正常な遠隔臨場ができない可能性があります。



遠隔臨場が開始されます。
Gリポート端末が遠隔臨場を開始すると映像が表示されます。

Gレポート

遠隔臨場を終了する



終了をクリックすると遠隔臨場を終了します。

3. 基本操作

3.1.ジンバルの使い方

ジンバルの起動

Gリポート端末をジンバル本体にセットしたら M ボタンを長押しして、電源を入れます。
電源が入ると「ポーン」という音が鳴ります。

DJI 製 OM 4 SE



M ボタンを長押しする



DJI 製 OSMO MOBILE SE



M ボタンを長押しする



Gリポート

ジンバル本体の電源が入ったら、Gリポート端末が自動で保持されます。

はじめは、Gリポート端末が縦方向に保持されるので、横方向に保持されるよう向きを変えてください。

操作方法はジンバルの機種によって異なります。

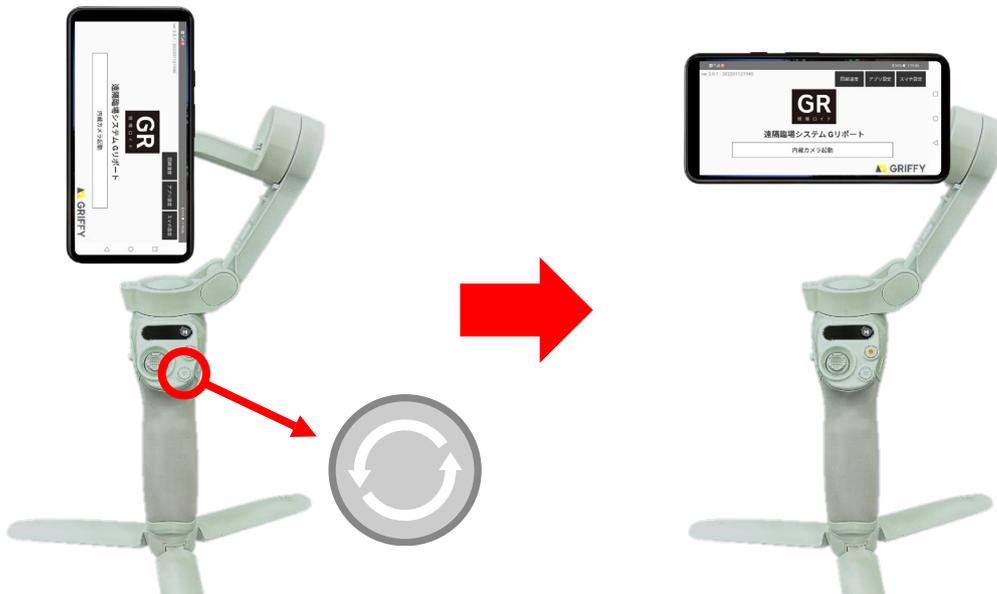
DJI 製 OM 4 SE

Mボタンを素早く2回押すと、端末の保持する向きを切り替えることができます。



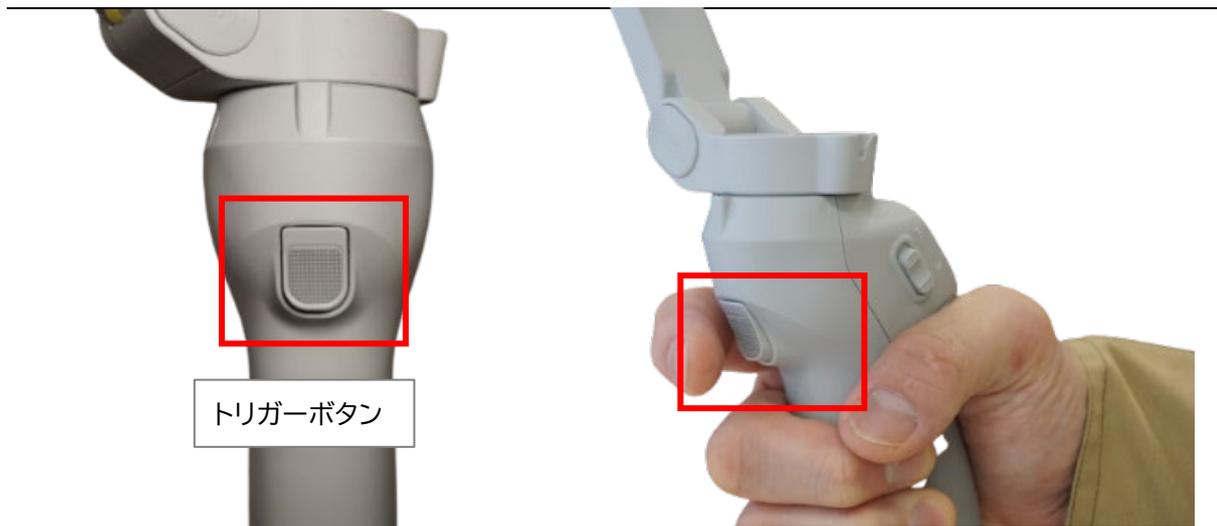
DJI 製 OSMO MOBILE SE

スマートフォン縦横切替ボタンを素早く2回押すと、端末の保持する向きを切り替えることができます。



Gリポート

ジンバル本体のトリガーボタンの使い方



- ボタンを押さない
- ボタンを1回押す
- ボタンを押しっぱなし

通常モード(ボタンを押さずに操作)

ジンバルの動きにスマートフォンが追従します。

操作:

ロックモード(ボタンを押したまま操作)

スマートフォンがジンバルの動きに追従することなく、常に同じ画角を保持します。

操作:

クイックモード(ボタンを1回押し、素早く2回目に長押しして操作)

ジンバルの動きにスマートフォンが素早く反応し、追従します。

操作:

再センタリング(ボタンを素早く2回押す)

電源投入時のポジションに素早く戻すことができます。

操作:

3.2. 遠隔臨場中のGリポート端末の使い方

Gリポート端末 遠隔臨場中の画面の名称



	名称	説明
①	接続状態	Gリポート端末の接続状態を確認します。
②	解像度	解像度を確認します。
③	フレームレート	フレームレートを確認します。
④	マイクON	マイクのON/OFFを切り替えます。
⑤	写真撮影	静止画像として保存できます。
⑥	カメラ切替	アウトカメラとインカメラの切り替えをします。
⑦	臨場終了	遠隔臨場を終了します。
⑧	映像	臨場開始すると、映像を表示します。
⑨	検査側端末からの映像	検査側からの映像を受信し表示します。

※フレームレートの設定・確認は、Gリポート端末(外付けカメラ利用時のみ)からのみ行えます。

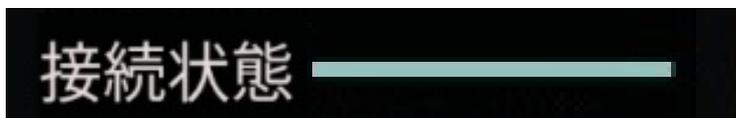
※臨場終了は検査側が録画を停止していることを確認してから終了してください。

クラウド録画やローカル録画中に終了すると、録画データが正しく保存されない場合があります。

接続状態のみかた



通信の状態は、ラインの長さで確認できます。



良い状態

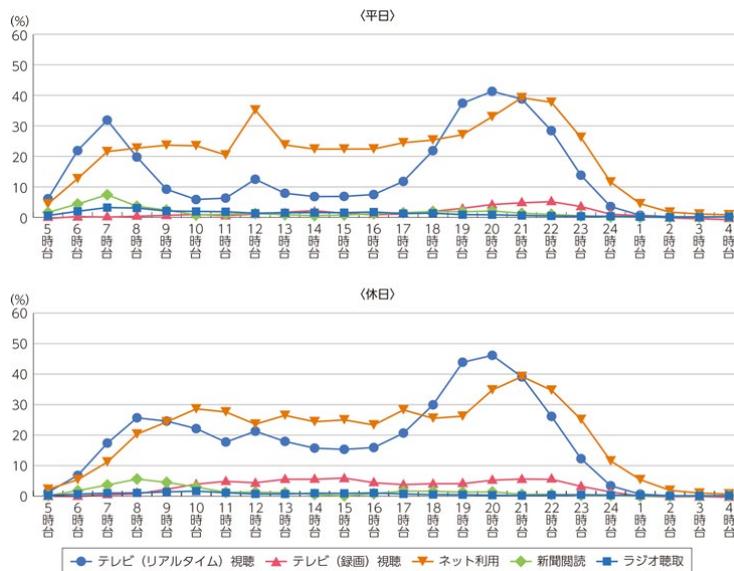


悪い状態

場所や時間帯によって、通信状態が変わります。

通信状態が悪いと映像・音声の劣化やフレームレートの低下が発生しやすくなります。

インターネット利用者が増えるお昼時間や、夕方・夜間の時間帯を避けて利用することで、これらの状況が改善される場合があります。

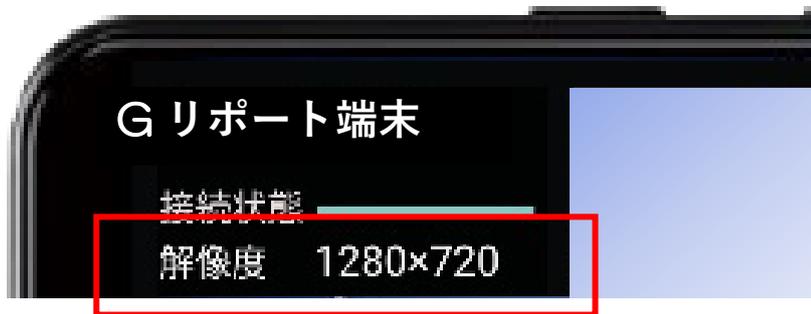


時間帯別の利用者推移(総務省 令和3年 情報通信白書より抜粋)

Gレポート

解像度について

Gレポート端末では、今設定されている解像度を確認することができます。



解像度の変更については、「[6.1 解像度を変更する](#)」で変更の方法や詳細について説明しています。

フレームレートについて

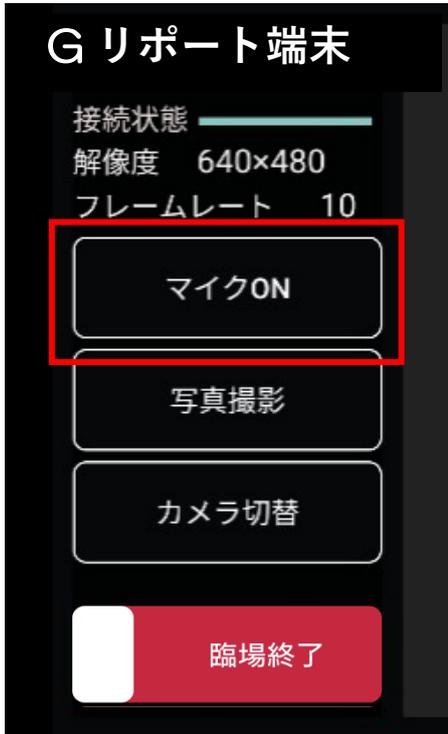
フレームレートは、Gレポート端末で外付けカメラ(オプション品)接続時に変更することができます。なお、内蔵カメラのフレームレートは変更することができません。

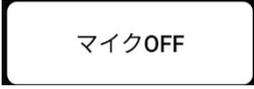
フレームレートの変更については、「[7.1 外付けカメラを使う - フレームレートを変更する](#)」で変更のしかたや詳細について説明しています

Gリポート

マイクについて

Gリポート端末のマイクの ON/OFF を、Gリポート端末の画面から変更できます。



ボタン	状態
	マイク ON 状態
	マイクが OFF 状態

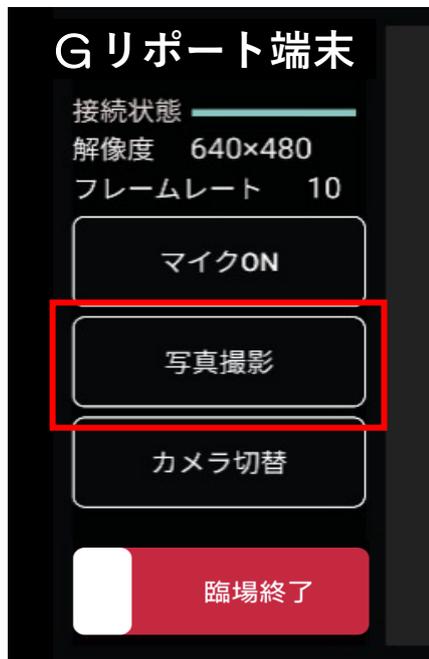
【メモ】

使用開始時などテスト起動する際に、Gリポート端末と検査側端末が近距離にある場合、ハウリングし「キーン」と耳をつく音がすることがあります。その場合は、検査側端末のマイクを OFF にすると、ハウリングが解消されます。Gリポート端末と検査側端末の距離が離れている時は起こりませんのでご安心ください。

Gリポート

写真撮影について

遠隔臨場中に写真撮影のボタンをタップすると、クラウド上に静止画像が保存されます。
保存された静止画像は、検査側端末から管理画面を開いて確認できます。



写真撮影できる枚数に制限はありません。

カメラ切替について

カメラ切替はアウトカメラとインカメラを切り替えることができます。



インカメラに切り替えると、Gリポート端末を操作している方を映すことができます(イメージ図)。

Gリポート

臨場終了について

臨場終了は、Gリポート端末と検査側どちらからでも、終了することができます。



Gリポート端末では、臨場終了した時点で使用していた解像度を端末に記憶しています。アプリ設定で「前回利用した解像度で起動」を選択している場合は、Gリポート端末内に記憶されている前回終了時点の解像度で起動することができます。詳細は、「[6.1 解像度を変更する - Gリポート端末の設定](#)」を参照ください。

※クラウド録画している場合は、できるだけクラウド録画の停止を行ってから、臨場終了してください。録画データが正常に保存できない場合があります。

※ローカル録画中に臨場終了をすると、録画データを保存できません。ご注意ください。

3.3. 遠隔臨場中の検査側端末の使い方

検査側端末 遠隔臨場中の画面の名称



	名称	説明
①	終了	遠隔臨場を終了します。
②	解像度	解像度を変更できます。
③	マイクON	マイクのON/OFFを切り替えます。
④	クラウド録画開始	クラウド録画を開始します。
⑤	クラウド録画マーカ	クラウド録画中に任意のタイミングにマーキングをつけます。
⑥	ローカル録画	ローカル録画を開始します。
⑦	写真撮影	静止画像として保存できます。
⑧	ズームバー	表示している映像をデジタルズームできます。
⑨	検査側映像	検査者端末から送信している映像です。
⑩	Gリポート端末映像	Gリポート端末からの映像を表示します。

Gリポート

遠隔臨場の終了について

臨場終了は、検査側と Gリポート端末 どちらからも終了することができます。

Gリポート端末から切断した場合は、その時点で臨場が終了します。

検査側から終了する場合、接続している検査側端末が 0 台になった時点で、臨場終了します。



【操作】 終了をクリックします。

臨場終了は、クラウド録画が停止していることをご確認の上、終了してください。

※クラウド録画は録画停止してから、終了を行わないと正常に録画が出来ない場合があります。

※ローカル録画は、停止をしないで臨場終了すると、録画データの保存ができません。

※臨場終了は検査側が録画を停止していることを確認してから終了してください。

解像度について

解像度は、Gリポート端末又は、検査側端末から変更できます。

解像度の変更については、「[6.1 解像度を変更する - 検査側端末での変更方法](#)」を参照ください。

マイクについて

検査側端末の ON/OFF を画面から変更できます。



ボタン	状態
	マイク ON 状態
	マイクが OFF 状態

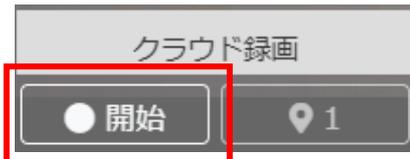
マイクをクリックすると ON と OFF が切り替わります。

Gレポート

クラウド録画

遠隔臨場の実施中に、映像と音声をクラウドサーバに録画することができます。

録画開始・停止の操作は検査側端末からのみ行うことができます。



【操作】

クラウド録画の開始ボタンをクリックします。

クラウド録画が開始されます。



表示は、開始から停止に変わります。

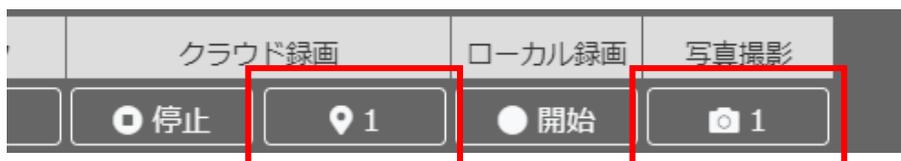
マーキング

クラウド録画中、任意のタイミングでマーカーを付ける事ができます。録画データの閲覧時にマーカーをつけた位置(時間)へ、簡単にスキップする事ができますので、再生時だけでなく、編集を行う際も利用できる機能となっています。

なお、付けられるマーカーの数に上限はありません。

また、写真撮影の「撮影」をクリックすると、画像データがクラウドに保存され、録画データにも自動的に撮影マーカーが付きます。

閲覧および編集方法については「[3. 録画した動画の活用](#)」で説明しています。



マーキングのマーカーには、はじめ数字の「1」が表示されています。

そのボタンを押すと、「マーク1」として記録されます。

自動的にマーカーの数字が次の数字に変わります。

録画を停止すると、マーカーの数字はリセットされ「1」に戻ります。

Gレポート



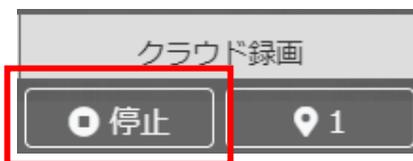
録画を開始すると、画面の右上に表示されている赤い REC マークが明るく点灯し、録画時間のカウントが開始されます。



写真撮影に数字の「1」と表示されます。



クラウド録画の停止



クラウド録画を停止するときは、「停止」をクリックします。

【注意】

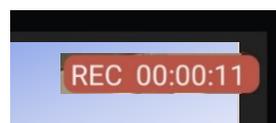
録画停止をしない状態で遠隔臨場を終了または、画面を閉じた場合、正常に録画が行われない場合があります。録画は必ず停止してから、終了または画面を閉じてください。

※クラウド録画は最大 4 時間まで録画できます。経過すると自動的に録画が停止し保存されます。

クラウド録画中、Gレポート端末の画面はこんな感じです



G レポート端末の画面は「写真撮影」に数字が表示され、右上に「REC」マークが表示されます。



写真撮影のアイコンに数字の「1」が表示されます。

Gレポート

ローカル録画

映像と音声をクラウドサーバではなく、お使いの検査側端末上で録画を実行し、録画データをダウンロード・保存することができます。

ローカル録画開始・停止の操作は検査側端末からのみ行うことができます。

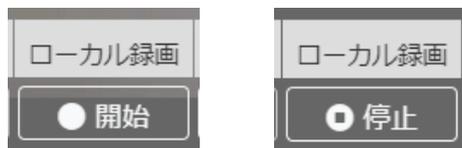
「クラウド録画」と「ローカル録画」の併用利用は検査側端末に負荷がかかるため、録画データの欠損の可能性があるため行わないようにしてください。

ローカル録画はクラウド上に保存を望まない動画の確認などにご利用ください。

※ご利用には条件があるため、以下内容をご確認ください。

【ご利用条件】

- ・ローカル録画は Windows のパソコンのみ使用できます。
- ・クラウド録画はカメラとオーディオ(マイク)が使用できない状態の場合はご利用できません。
- ・クラウド録画の再生には Google Chrome のブラウザがパソコンにインストールされている必要があります。

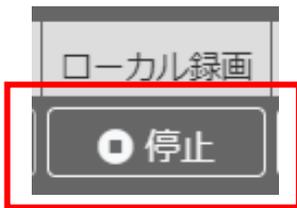


録画を開始すると、画面右上に表示されている緑色の REC マークが点灯し、録画時間のカウントが開始されます



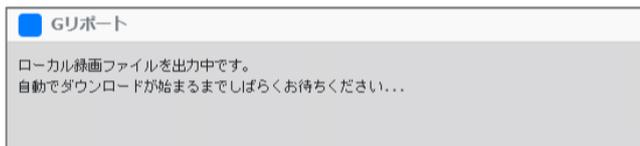
Gレポート

ローカル録画の停止



ローカル録画を停止するときは、「停止」をクリックします。

ローカル録画は、録画終了と同時に自動的にパソコンに動画ファイルが保存されます。



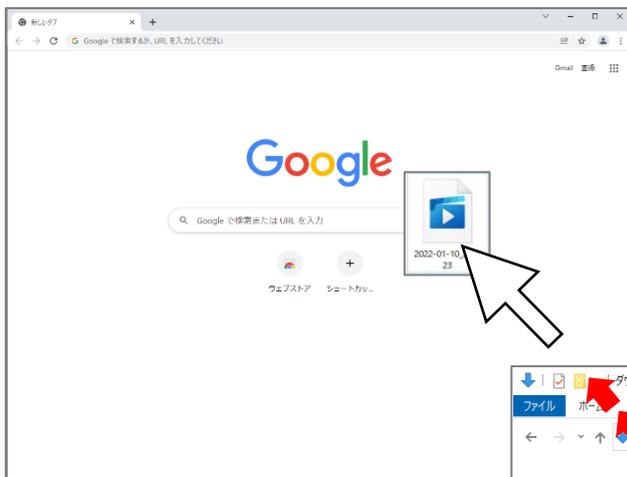
保存まで少し時間がかかります。

動画ファイルのサイズによって完了までの時間が異なります

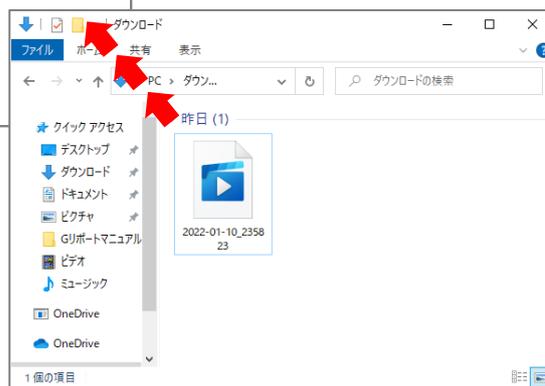
ローカル録画は、録画を終了すると同時に、自動的にパソコンに保存されます。

※保存場所は、ご使用のブラウザの設定により異なりますので、保存場所をご確認ください。

ローカル録画で保存した動画ファイルの閲覧方法



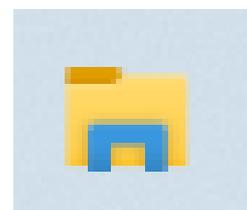
- ・Google Chrome のブラウザを開きます。
- ・保存した動画ファイルの保存場所を開きます。
- ・動画ファイルをドラッグでブラウザの画面までファイルを移動させます。
- ・ブラウザの上までファイルを移動させ手を離すと動画ファイルが再生されます。



【参考】

ダウンロードしたファイルは決まった場所に保存されます。

保存先は設定から変更できますが、初期設定では基本的には「ダウンロード」フォルダに保存されます。



ローカル録画の制限事項

ブラウザの機能制限により、ローカル録画の途中から参加した利用者の音声記録できません。
そのため、ローカル録画を行う際は、参加者が全員そろってから行うようにしてください。

写真撮影

Gレポート端末と検査側端末の双方より撮影が可能です。

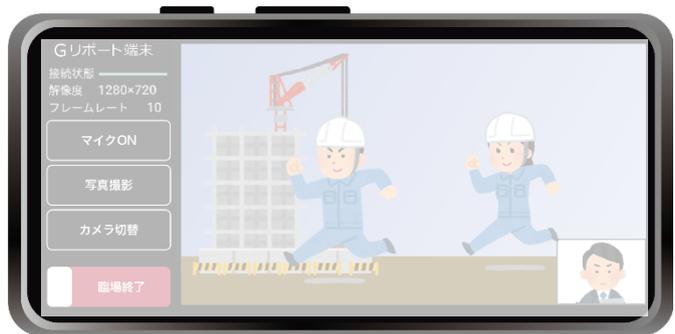
検査側端末で撮影を行うと、検査側端末からGレポート端末に撮影指示が送信されます。

撮影した静止画はクラウドに保存されます。



検査側端末で「撮影」をクリックします。

Gレポート端末の画面が一瞬光ります。



撮影後、管理画面左上に「静止画撮影が完了しました」と表示されます。

静止画撮影が完了しました。



Gレポート端末画面には「写真アップロード完了」と表示されます。

写真アップロード完了

Gリポート



通信切断等により撮影が失敗した場合、
管理画面に「静止画撮影に失敗しました」と表示されます。



管理画面で「OK」をクリックすると表示が消えます。



「撮影」をクリックすると、Gリポート端末での撮影処理が完了するまでの間、「撮影」ボタンが「撮影中」に変わり、
クリックしても撮影が実行されません。



検査側端末を複数接続している場合、すべての検査側端末で「撮影」ボタンが「撮影中」と表示されます。

【注意】

検査側端末からGリポート端末に撮影指示を送信する際、通信環境によって撮影に若干のタイムラグが生じることがあります。

4. 録画した動画の活用

4.1.動画を再生する

録画した動画を閲覧する時は、遠隔臨場が終了した状態で行います。



ログイン後の画面を開きます。
動画確認をクリックします。



左の画面に切り替わります。
クラウドに保存した動画ファイルがすべて
保存されています。

録画の停止後、動画が生成にはファイルサイズ
(録画時間)により時間がかかる
場合があります。



その場合、「変換中」と表示されます。
しばらくお待ちのうえ、画面をリロードしてください。



動画閲覧したい日付のファイルの「再生・編集」を
クリックします



「再生・編集」をクリックすると下図の画面に切り替わり、自動的に動画が再生されます。

種別	経過時間	シーク
マーク	00:00:19	1
マーク	00:00:39	2
PC静止画	00:01:08	1
マーク	00:01:32	3
スマホ静止画	00:02:28	2
マーク	00:03:00	4
スマホ静止画	00:03:22	3
マーク	00:03:52	5
PC静止画	00:04:27	4
スマホ静止画	00:05:03	5

Copyright © Ecomott Inc. All Rights Reserved.

一時停止や再生ができます。また、バーをクリックすると再生位置を移動できます。

クラウド録画の保存期間について

Gリポートを弊社に返却後、弊社がそれを受け付けてから **30 日間**まで閲覧・編集が可能です。

この**期間が経過した後は、自動的にデータが削除**されますので十分にご注意ください。

ここで行われる削除は**物理的な削除**ですので、**削除後は一切の復旧はできません**。

必ず、**必要なデータは参照可能な期間中にダウンロードや保存**をするようにしておいてください。

4.2. マーカーを使って再生する

動画再生時、クラウド録画中に「マーカー」をつけた位置や「写真撮影」した位置へ移動できます。

遠隔臨場システム Gレポート カメラ一覧 動画確認 静止画確認 取扱説明書 パスワード変更 ログアウト

動画再生

撮影日時: 2022年01月11日 15時39分33秒



種別	経過時間	シーク
マーク	00:00:19	1
マーク	00:00:39	2
PC静止画	00:01:08	1
マーク	00:01:32	3
スマホ静止画	00:02:28	2
マーク	00:03:00	4
スマホ静止画	00:03:22	3
マーク	00:03:52	5
PC静止画	00:04:27	4
スマホ静止画	00:05:03	5

静止画の切り出し

トリミングする開始時間と終了時間を入力してください。

開始位置に指定 00:00:00

終了位置に指定 00:06:24

トリミング実行

種別	経過時間	シーク
マーク	00:00:19	1
マーク	00:00:39	2
PC静止画	00:01:08	1
マーク	00:01:32	3
スマホ静止画	00:02:28	2
マーク	00:03:00	4
スマホ静止画	00:03:22	3
マーク	00:03:52	5
PC静止画	00:04:27	4
スマホ静止画	00:05:03	5

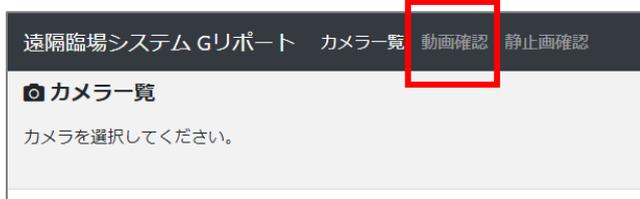
種別	意味
マーク	録画中に検査側から「マーク」した時の位置
PC 静止画	録画中に検査側から「撮影」した時の位置
スマホ静止画	録画中に現場側から「写真撮影」したときの位置

再生位置を「マーカー」または「撮影」した位置に移動する場合は、「シーク」に表示されているボタンをクリックします。

4.3. 動画を保存する

クラウド録画データは検査側端末の管理画面からダウンロードしてパソコンに保存することができます。

※保存場所をご利用のブラウザのダウンロードの保存先に設定されている場所になります。



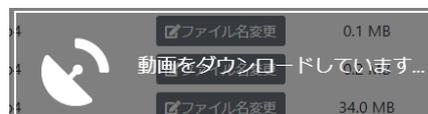
ログイン後の画面上部にある、「録画確認」をクリックし、以下の画面を表示します。



ダウンロードしたい動画ファイルの「ダウンロード」をクリックします。



「動画をダウンロードしています…」と表示されます。表示が消えたら、保存完了です。



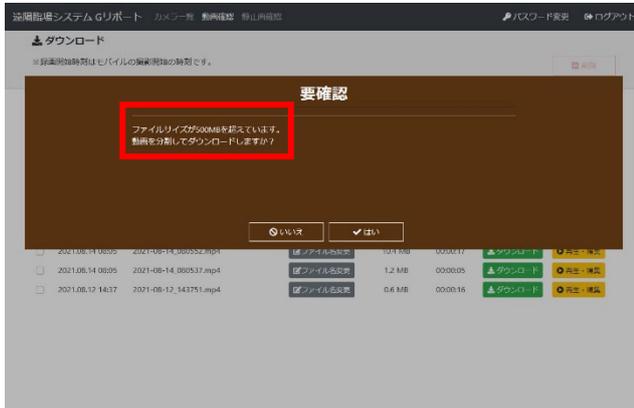
【メモ】

ファイルサイズ(録画時間)により、保存されるまで時間がかかる場合があります。

※保存場所をご利用のブラウザのダウンロードの保存先に設定されている場所になります。

4.4. 500MB を超える動画のダウンロード方法

1つの録画データが500MBを超えるデータとなる場合、データを分割してダウンロードするか選択することができます。分割して保存すると、動画ファイルなどのデータをCD-R等の保存容量が小さいメディアで納品する必要があるときに役立ちます。



ファイルサイズが500MBを超えている場合、左の画面の通りメッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると、分割して保存されます。

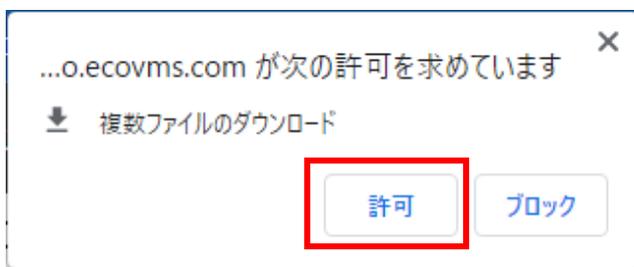


「いいえ」をクリックすると分割されない状態で保存されます。

【メモ】

本機能はトリミング時においても同様のポップアップが表示されます。

分割して保存する場合、初回のみ「複数ファイルのダウンロード」の許可のポップアップが表示されますので、「許可」をクリックしてください。



複数ファイルで保存した場合、ファイル名は「変更前の名前」+「連番」になります。

(例)2022-01-11_153933.mp4 を分割した場合

2022-01-11_153933_1.mp4 と 2022-01-11_153933_2.mp4

4.5. 動画の一部を切り出す(トリミング)

録画データの中で必要な部分だけを時間で指定して、動画ファイルをダウンロードすることができます。動画をみながら、「時・分・秒」を確認して、起点と終点を指定することやマーキングした位置を利用して指定することができます。

遠隔臨場システム Gレポート カメラ一覧 動画確認 静止画確認 取扱説明書 パスワード変更 ログアウト

● 動画再生
撮影日時: 2022年01月11日 15時39分33秒

種別	経過時間	シーク
マーク	00:00:19	1
マーク	00:00:39	2
PC静止画	00:01:08	1
マーク	00:01:32	3
スマホ静止画	00:02:28	2
マーク	00:03:00	4
スマホ静止画	00:03:22	3
マーク	00:03:52	5
PC静止画	00:04:27	4
スマホ静止画	00:05:03	5

0:00 / 6:24

静止画の切り出し

トリミングする開始時間と終了時間を入力してください。

開始位置に指定 00:00:00

終了位置に指定 00:06:24

トリミング実行

時・分・秒を指定してトリミングする方法

静止画の切り出し

トリミングする開始時間と終了時間を入力してください。

開始位置に指定 00:00:00

終了位置に指定 00:06:24

トリミング実行

左図から指定して、トリミングを行います。

Gレポート

トリミングする開始時間と終了時間

00	00	04
01	01	05
02	02	06
03	03	07
04	04	08
05	05	09
06	06	10

開始位置に指定

終了位置に指定

時計マークをクリックするとメニューが表示されます。

開始位置の時刻と終了位置の時刻を指定します。

時間を指定したらトリミング実行をクリックします。



「動画をダウンロードしています…」文字が表示されます。表示が消えると、保存が完了します。



※保存場所をご利用のブラウザのダウンロードの保存先に設定されている場所になります。

マーキングの位置を利用してトリミングする方法

種別	経過時間	シーク
マーク	00:00:19	1
マーク	00:00:39	2
PC静止画	00:01:08	1
マーク	00:01:32	3
スマホ静止画	00:02:28	2
マーク	00:03:00	4
スマホ静止画	00:03:22	3
マーク	00:03:52	5
PC静止画	00:04:27	4
スマホ静止画	00:05:03	5

マーキングで記録されているタイミングを利用して開始位置や終了位置に設定することができます。

トリミングする開始時間と終了時間を入力してください。

開始位置に指定

終了位置に指定

Gレポート

種別	経過時間	シーク
マーク	00:00:19	1
マーク	00:00:39	2
PC静止画	00:01:08	1
マーク	00:01:32	3
スマホ静止画	00:02:28	2
マーク	00:03:00	4
スマホ静止画	00:03:22	3
マーク	00:03:52	5
PC静止画	00:04:27	4
スマホ静止画	00:05:03	5

開始位置または終了位置にしたい、シークの番号をクリックします。

クリックすると、経過時間に表示されている時間に自動でシークされます。

(シークしていない状態)



(クリックしてシークしている状態)



トリミングする開始時間と終了時間を入力してください。

開始位置に指定

終了位置に指定

シークされた状態で、「開始位置に指定」または「終了位置に指定」をクリックします。

(例)

開始位置に指定

終了位置に指定

選択したシークの時間が自動入力されます。

開始位置:シーク1を選択している。
終了位置:シーク5を選択している。

開始位置と終了位置を指定したら、トリミング実行をクリックします。



動画のダウンロードが開始しパソコンに保存されます。



4.6. 動画から静止画を作成する

録画データを再生中に一時停止した部分から静止画を切り出すことができます。

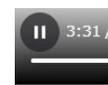
画像データは、クラウドと検査者のパソコンに同時に保存します。

クラウドに保存された画像は、管理画面の「静止画確認」から確認できます。

※保存場所がご利用のブラウザのダウンロードの保存先に設定されている場所になります。



動画の再生中に画像データとして保存したいタイミングで一時停止します。



クリックします。



静止画の切り出しをクリックします。



「静止画を切り出しています…」と表示されます。表示が消えると保存が完了します。



【メモ】

クラウド録画の動画ファイルからの切り出しは1秒単位になります。

1秒以内の動きのあるタイミングで一時停止し切り出しを行った場合、切り出しの行った瞬間の前後の画像が保存される場合があります。

4.7. 動画のファイル名を変更する

録画データのファイル名は日時を元に自動で作成されています。

ファイル名は任意にすることができます。

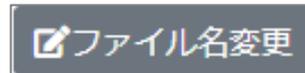
半角記号は「-(ハイフン)」 「_(アンダーバー)」のみ使用できます。

文字数に制限はありません。

録画開始時刻	ファイル名	ファイルサイズ	録画時間	ステータス
2022.01.11 15:39	2022-01-11_153933.mp4	107.4 MB	00:06:24	ダウンロード 再生・編集
2022.01.11 15:08	2022-01-11_150841.mp4	16.8 MB	00:05:23	ダウンロード 再生・編集
2022.01.11 15:05	2022-01-11_150508.mp4	26.6 MB	00:01:24	ダウンロード 再生・編集
2021.11.28 16:52	2021-11-28_165222.mp4	18.3 MB	00:02:03	ダウンロード 再生・編集
2021.11.28 16:52	2021-11-28_165206.mp4	0.1 MB	00:00:01	ダウンロード 再生・編集
2021.11.28 16:50	2021-11-28_165050.mp4	0.2 MB	00:00:02	ダウンロード 再生・編集
2021.11.28 16:24	2021-11-28_162443.mp4	34.0 MB	00:01:21	ダウンロード 再生・編集
2021.11.28 16:19	2021-11-28_161952.mp4	36.1 MB	00:01:01	ダウンロード 再生・編集

録画開始時刻	ファイル名	ファイルサイズ
2022.01.11 15:39	2022-01-11_153933.mp4	107.4 M
2022.01.11 15:08	2022-01-11_150841.mp4	16.8 M
2022.01.11 15:05	2022-01-11_150508.mp4	26.6 M
2021.11.28 16:52	2021-11-28_165222.mp4	18.3 M
2021.11.28 16:52	2021-11-28_165206.mp4	0.1 M
2021.11.28 16:50	2021-11-28_165050.mp4	0.2 M

「ファイル名変更」をクリックします。



ファイル名の変更

新しいファイル名を入力してください。

新しいファイル名

好きなファイル名を入力します。

例) 20220120_遠隔臨場 1 回目

変更前

2022.01.11 15:08	2022-01-11_150841.mp4
------------------	-----------------------

「OK」をクリックします。

ファイル名が変更されます。

変更後

2022.01.11 15:39	20220120_遠隔臨場1回目.mp4
------------------	----------------------

【メモ】

ファイル名を変更すると、そのファイルをダウンロードすると変更後の名前で保存します。

ファイルサイズが 500MB 以上の場合、分割して保存できますが、ファイル名は変更前の名前で保存されます。

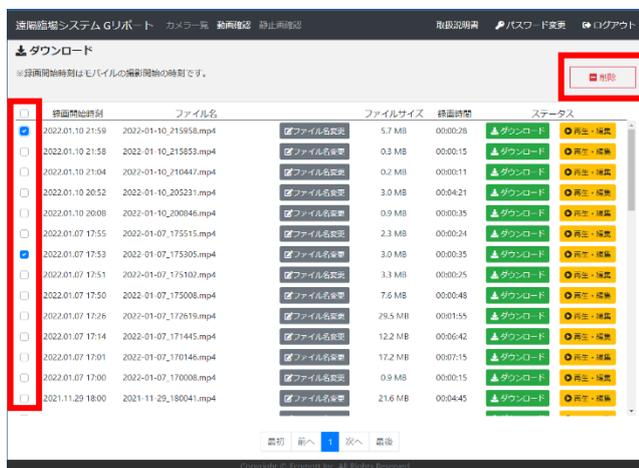
4.8. 動画を削除する

クラウド録画ファイルは管理画面から削除できます。

一度削除すると、復元はできません。そのため、ファイルの削除はお客様の責任で行って頂くものとなります。



「録画確認」をクリックし、動画ファイルを表示させます。

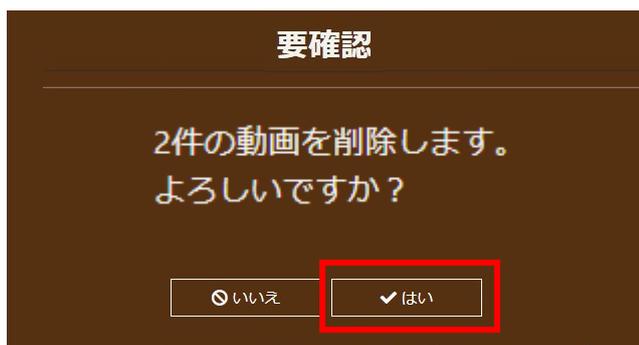


削除したいファイルのチェックボックスに✓をいれます。

※複数選択ができます。(上限なし)



削除ボタンをクリックします。



✓した件数と削除の確認が表示されます。

「はい」をクリックします。



認証確認の画面が表示されますので、ログインパスワードを入力し、認証をクリックします。

※ログインパスワードは設定完了通知書に記載のものです。



チェックした動画が削除されます。

すべての動画を一括で削除する場合



クラウド録画した動画をすべてを選択するチェックボックスです。
クラウド録画したデータを一括ですべて消去したいときに使います。

※画面上に表示されている動画だけではないので、ご利用時は削除する件数を確認して実行してください。



画面には動画は 50 件まで表示します。
すべて選択したので、左図では 368 件と表示されています。

※削除すると、動画の復元はできませんので
ご確認のうえ削除してください。

5. 静止画の活用

5.1. 静止画を確認する

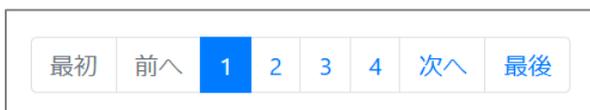
写真撮影した静止画は検査側端末から閲覧できます。



ログイン後の画面を開きます。
静止画確認をクリックします。



保存された静止画像の一覧が表示されます。
一画面に 50 件まで表示されます。
50 件を超えると、画面のページが追加されます。



「数字」「次へ」「最後」をクリックして確認します。撮影
が新しいものから表示します。



見たい画像をクリックします。



静止画が表示されます。

閉じたい時は、右上の「×」をクリックします。

静止画の種類

静止画の撮影者が表示されています。

いつどのように画像を保存したのか、把握することができます。



撮影者	内容
PC	検査側が撮影した静止画です
スマートフォン	現場側が撮影した静止画です
切り出し	動画ファイルから切り出した静止画です。

左の静止画はどちらも、動画ファイルから切り出して画像にしたものです。

5.2. 静止画を保存する

静止画を検査者のパソコンに保存できます。

※保存場所をご利用のブラウザのダウンロードの保存先に設定されている場所になります。



※保存場所をご利用のブラウザのダウンロードの保存先に設定されている場所になります。

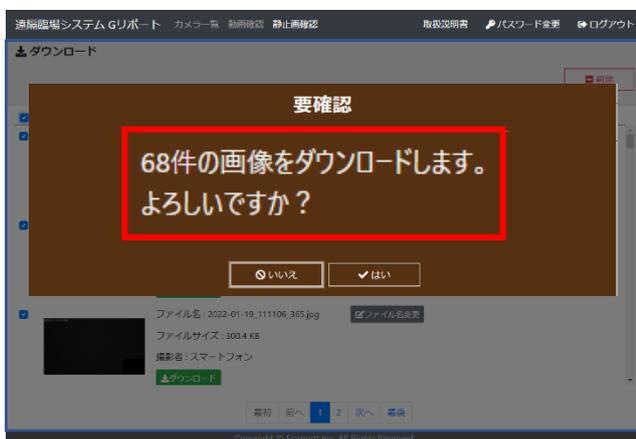
すべての静止画を一括で保存する場合



撮影した静止画をすべて選択するチェックボックスです。一括ですべて保存したいときに使います。

※画面上に表示されている動画だけではないので、ご利用時は保存する件数を確認して実行してください。

選択したら、ダウンロードボタンをクリックします。



画面には静止画は 50 件まで表示します。すべて選択したので、左図では 68 件と表示されています。

「はい」をクリックしてダウンロードします。

5.3. ファイル名を変更

静止画データのファイル名は日時を元に自動で作成されています。

ファイル名は任意にすることができます。

半角記号は「-(ハイフン)」「_(アンダーバー)」のみ使用できます。

文字数に制限はありません。



「ファイル名変更」をクリックします。



好きなファイル名を入力します。

例)20220219_遠隔臨場 2 回目
「OK」をクリックします。



ファイル名が変更されます。

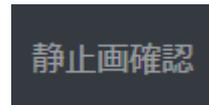
5.4. 静止画を削除する

静止画は検査側端末から削除できます。

一度削除すると、復元はできません。そのため、ファイルの削除はお客様の責任で行っていただくものとなります。



ログイン後の画面を開きます。
静止画確認をクリックします。

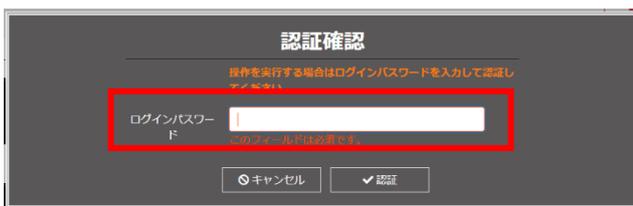


削除したいファイルのチェックボックスに
✓をいれます。

※複数選択ができます。(上限なし)



削除ボタンをクリックします。



認証確認の画面が表示されます。

ログインパスワードを入力します。

認証をクリックします。

※ログインパスワードは設定完了通知書に記載のものです。



すべての静止画を一括で削除する場合



撮影した静止画をすべて選択する
チェックボックスです。
一括ですべて消去したいときに使います。

※画面上に表示されている動画だけでは
ないので、ご利用時は削除する件数を
確認して実行してください。



画面には静止画は 50 件まで表示します。
すべて選択したので、左図では 68 件
と表示されています。

「はい」をクリックして削除します。

※削除すると、静止画の復元はできませんのでご確認のうえ削除してください。

6. システム環境の変更

6.1. 解像度を変更する

Gレポート端末の設定

Gレポート端末では、起動時の解像度を以下の2パターンより選択できます。

- 標準(HD)解像度で起動
- 前回の解像度で起動



【操作】

「アプリ設定」をタップします。



初期状態では「標準(HD)解像度で起動」が選択されていますが、前回終了時の解像度で起動したい場合は、「前回の解像度で起動」を選択します。

が保存されます。

画面右上の「保存・閉じる」ボタンをタップすると、設定



解像度の設定を保存後、臨場を開始すると、設定された解像度で臨場ができます。

検査側端末での変更方法



【操作】

検査側端末の画面で、解像度のプルダウンをクリックします。

変更したいサイズにマウスを合わせてクリックすると変更できます。

現場側と接続した直後の解像度は、Gリポート端末側の設定によって変わります。

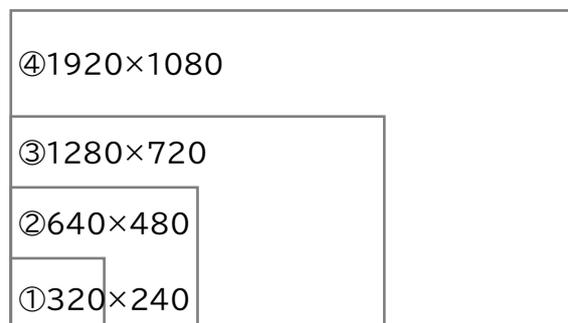
Gリポート端末の設定が「標準(HD)で起動する」の場合はHD(1280×720)で起動します。

「前回利用した解像度で起動」に設定されている場合は、前回終了した時点の解像度で起動します。

詳細は「[Gリポート端末の設定](#)」を参照してください。

【参考】変更できるサイズとサイズの目安

	解像度
①	低画質 QVGA 320×240
②	準標準 VGA 640×480
③	標準HD 1280×720
④	高画質 FullHD 1920×1080



解像度が大きくなるほど、画質はよくなりますが通信データ量が多くなります。

映像がカクカクしたり遅延しているときは、解像度を下げると映像のカクカクや遅延が改善される場合があります。(例:標準 HD1280×720 を準標準 VGA640×480 に変更する)

製品出荷時の初期設定では「標準 HD 1280×720」で起動しますが、使用上サイズが大きくなってよい場合はデータ量の少ないVGAがおすすめです。

また、解像度を変更した際は、次回以降も同じ設定で接続できるように「[Gリポート端末の設定](#)」の手順に従い、解像度をGリポート端末に記憶する機能を利用するとより便利に利用できます。

外付けカメラの解像度の変更と特徴について

外付けカメラの機種は以下の 2 種類あります。

※機種により変更できる解像度が異なります。

外付けカメラ機種名	変更可能な解像度	手振れ防止機能
CX-WE100(Xacti 製)	準標準 VGA 640×480	○
	標準HD 1280×720	
	高画 FullHD 1920×1080	
ST#7CAM-02U(谷沢製作所製)	標準HD 1280×720	×

【メモ】

外付けカメラが対応していない解像度に変更した場合は、「カメラに接続できませんでした。」と表示され接続が中断され強制的に遠隔臨場が終了します。その場合は起動しなおしてください。

クラウド録画及びローカル録画中は、解像度の変更ができません。

6.2. 画面を縦に変更する

画面を縦画面に変更できます。

初期設定では、横画面になっています。

※外付けカメラ使用時は、横画面のみになります。

※内蔵カメラ

のみ対応しています



【操作】

アプリ設定をタップします。



縦画面を選択します。

● 縦画面

保存・閉じるをタップします。



画面が縦型になります。

内蔵カメラ起動をタップします。

縦型になるとボタンの位置など変わります。
操作などは横型と変わりません。

横型にしたいときは、臨場を終了して、アプリ設定から設定を変更します。

細かい隙間を確認したいときなど、用途に合わせて、切り替えてご使用ください。

6.3. パスワードを変更する

ログインパスワードは任意に変更することができます。
パスワード変更後、忘れないようにしてください。

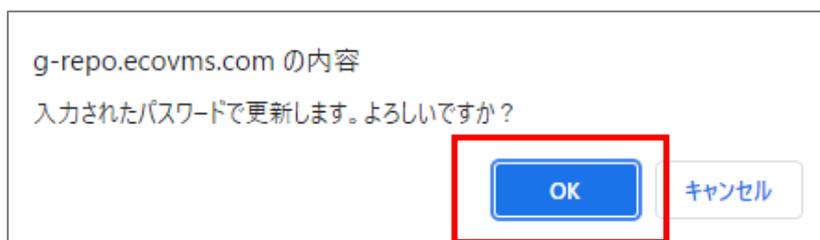


パスワード変更をクリックします。



現在のパスワードを入力します。
新しいパスワードを入力します。
確認用に新しいパスワードを入力します。

パスワード変更をクリックします。



OK をクリックします。
パスワードの変更が完了します。

※パスワード変更後 変更したパスワードでログインができるか、ご確認ください。

7. 有料オプションのご利用

7.1. 外付けカメラを使う

外付けカメラを使うと、ウェアラブルでのご利用ができます。
ヘルメットに固定して使うことや狭いところを映すことができます。



外付けカメラは USB ケーブルを挿すだけで使うことができます。
外付けカメラをGリポート端末に取り付ける遠隔臨場起動のボタンが変わります。



表示:「内蔵カメラ」 → 「USBカメラ起動」



USBカメラ起動をタップします。



左のボタンが変わります。
カメラ切替が操作ロックに変わります。



ロックをタップすると、ロック解除以外のボタンが非表示になります。
外付けカメラを使用時に誤って他のボタンが勝手に押されないための機能です。



ロック解除は指を  に合わせて左から右にスラフドしてください。

Gリポート

こんな画面が出てきたら

遠隔臨場

遠隔臨場を起動してNCM10-B01-00を処理しますか？

NCM10-B01-00を接続したら常に遠隔臨場を起動する

キャンセル OK

外付けカメラを利用して遠隔臨場を起動してよいか、確認の画面が出てきますので、OK をタップします。

チェックボックスに✓をいれて OK をタップすると、次回以降メッセージは表示されません。

Gリポートの画面

外付けカメラの装着・未装着でメニュー画面のカメラ起動ボタンが切り替わります。



外付けカメラ装着時



外付けカメラ未装着時(内蔵カメラ使用)

フレームレートを変更する

外付けカメラをご使用時はフレームレートを変更できます。

※内蔵カメラのフレームレートは変更することができません。



【操作】

アプリ設定をクリックします。



フレームレートを以下の3種類より選択することができます。

- ・30p
- ・10p
- ・5p

選択し、「保存・閉じる」ボタンをタップすると、設定が保存され、初めの画面に戻ります。

リポート

フレームレートとは

フレームレート(fps)とは、1秒間の動画が何枚の画像で構成されているかを示す単位のことです。30pの場合は、1秒間に30枚の画像で構成されているので、とても滑らかな動画になります。

【注意】

フレームレートの数値を大きくすると、データ量が大きくなりネットワーク回線に負荷がかかります。保存やアップロードに時間がかかり動画のデータ転送が間に合わずに、映像配信に遅延などが発生する事があります。現場の通信環境に合わせて、調整してください(推奨設定 10p)。

7.2. Bluetooth イヤホンを使う



スマホ設定から設定を行います。

【操作】

スマホ設定をタップします。



設定画面に切り替わります。

Bluetooth をタップ

Bluetooth 画面に切り替わります。
コントロールボタンをタップし、ON(緑色)にします。

以降の設定については、メーカーの取扱説明書を下記 web サイトよりご参照ください。

(KENWOOD 製)

<https://manual2.jvckenwood.com/accessory/headphones/contents/kh-m500/jp/>

(サンワサプライ製)

https://cdn.sanwa.co.jp/support/setsumeisyo/pdf/M/MM-BTMH68BK_ver1-0.pdf

8. ソフトウェアアップデート

Gリポート端末のバージョンについて

Gリポートのバージョンは、左上に表示されています。



自動バージョンアップ

Gリポート端末は、**最新のGリポートソフトウェアがリリースされると夜間に自動でアップデート**するように設定されています。そのため、利用しない時(利用が終わった後など)に電源をOFFにしてしまうと、この機能が動作できず、自動でのバージョンアップが行われません。

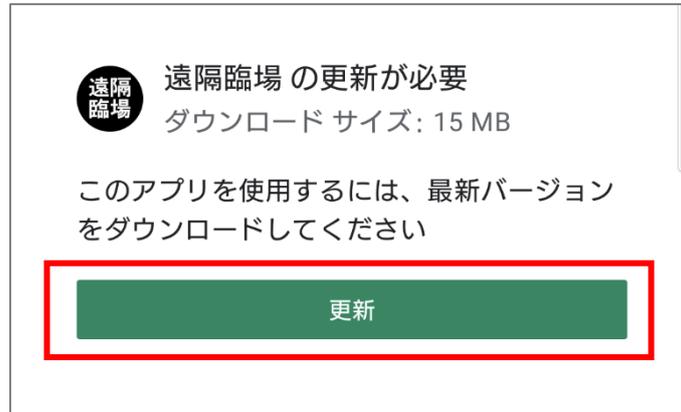
ですので、**利用後は充電状態のまま電源を切らずに保管することをお勧め**いたします。

もし、電源を切って保管される場合、次回Gリポート端末起動時にバージョンアップを促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってバージョンアップを行ってください。

詳細は「[Gリポート端末起動時の更新プログラム受信](#)」を参照ください。

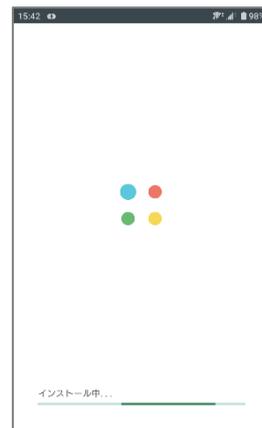
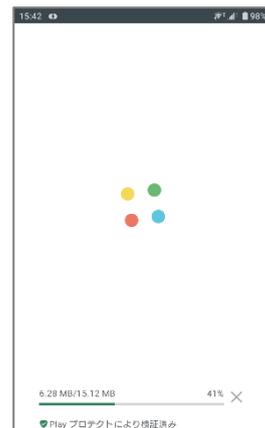
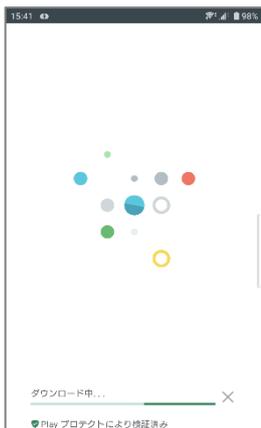
Gレポート端末起動時の更新プログラム受信

Gレポートの最新バージョンが配信されると、Gレポート起動時に更新情報を受信します。



Gレポート端末を起動する前に、アップデートの更新画面が表示されます。
更新をタップします。

※更新を完了しないとGレポート端末で遠隔臨場の実行ができません。



「更新」ボタンをタップすると更新プログラムがダウンロードされ、インストールが開始されます。
インストールが完了すると、自動的に遠隔臨場のアプリケーションが起動します。

【注意】

上記、更新画面が表示されているときに、画面右上の「×」ボタンでキャンセルしてしまった場合、Gレポートの自動起動が解除されてしまい、スマートフォン本来の待ち受け画面が表示されてしまいます。その場合は、「[10.3 Gレポートの場面が表示されない](#)」を参考に、自動表示設定を行ってください。

9. 検査側端末のネットワーク環境

検査側のネットワークについて、モデムからの有線 LAN での接続を推奨しています。

有線 LAN のメリット

- ・ギガビットネットワークが普及し、高速通信の恩恵が得られます。
- ・電気信号による通信なので、無線 LAN に比べて小さな遅延での遠隔臨場が可能です。

有線 LAN のデメリット

- ・ケーブルの破損や断線が起こりえます。
- ・臨場中は移動できません。
- ・規模の大きいオフィスだと通信速度が遅いケースもあります。

無線 LAN のメリット

- ・PC の他に iPad などのモバイルデバイスが利用できます。
- ・臨場中の移動も可能です。
- ・少人数(2, 3人)で使う分にはお手軽に利用が可能です。

無線 LAN のデメリット

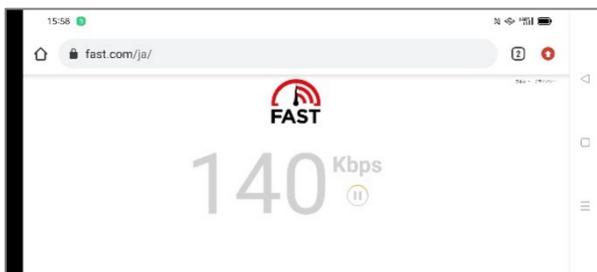
- ・無線ルーターの通信速度は有線に比べて劣ります。
- ・屋内環境や遮蔽物のある環境だと、反射波や電波の減衰などで通信環境が悪化します(遅延の原因)。
- ・接続人数が増えると極端に遅くなります。

10. 動作がおかしい時

10.1. 通信ができない

Gリポート端末と検査側端末で通信ができない時に、通信状態を確認できます。

Gリポート端末の回線速度の確認方法



【操作】

回線速度の確認方法

回線速度をタップします。

画面が切り替わり、スマートフォンの回線速度を測定します。(少々時間がかかります。)



通信速度が確定します。

表示されているのは、下りの速度なので「詳細表示」をタップしてください。

Gリポートの速度はアップロードの速度を確認します。



回線が込み合っている場合は通信状況が悪くなりますので目安としてください。

(目安)3Mbps 以下(推奨 5Mbps)

検査側端末の利用状況の確認方法

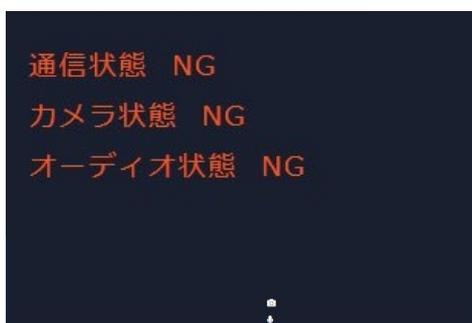
ログイン画面から、検査側端末の通信環境及びカメラ・オーディオ(マイク)の利用状況についてテストを行います。通信環境とはGレポートのクラウドサーバにお客様のネットワークからアクセスが可能かどうかを確認するものです。



テスト画面をクリックします。

テスト画面表示

通信ができない場合



現在のお客様のネットワーク環境では、ご利用できません。
ネットワーク管理者にご相談いただき、下記通信先、ポート番号、プロトコルの通信を許可いただくようお願いいたします。

通信先ドメイン名	ポート番号	プロトコル
g-repo-cw.ecovms.com	443	TLS(SSL)、TCP
g-sfu-cw.ecovms.com	443	TLS(SSL)、TCP、WebSocket
g-turns-cw.ecovms.com	443	TLS(SSL)、TCP

	オーディオ(マイク)利用可	オーディオ(マイク)利用不可
カメラ 利用可		
カメラ 利用不可		

※通信・カメラ・オーディオ(マイク)の状態は画面左上のステータスをご確認ください。

※すべて「OK」の場合でも、PC 側が全面グレーで利用できない場合があります。その場合は、「[トラブルシューティング 12](#)」を参照してください。

カメラ利用可の場合は、検査側端末の映像が表示されます。



※通信ができた場合

現在のお客様のネットワーク環境で、Gレポートをご利用できます。

検査側端末の回線速度の確認方法

検査側端末で下記の URL にアクセスします。

<https://fast.com/ja/>



詳細表示をクリックします。
通信状況をご確認ください。

10.2. ジンバルが正常に動作しない

ジンバル本体の電源をいれたのに、Gレポート端末が保持されない場合があります。

確認1

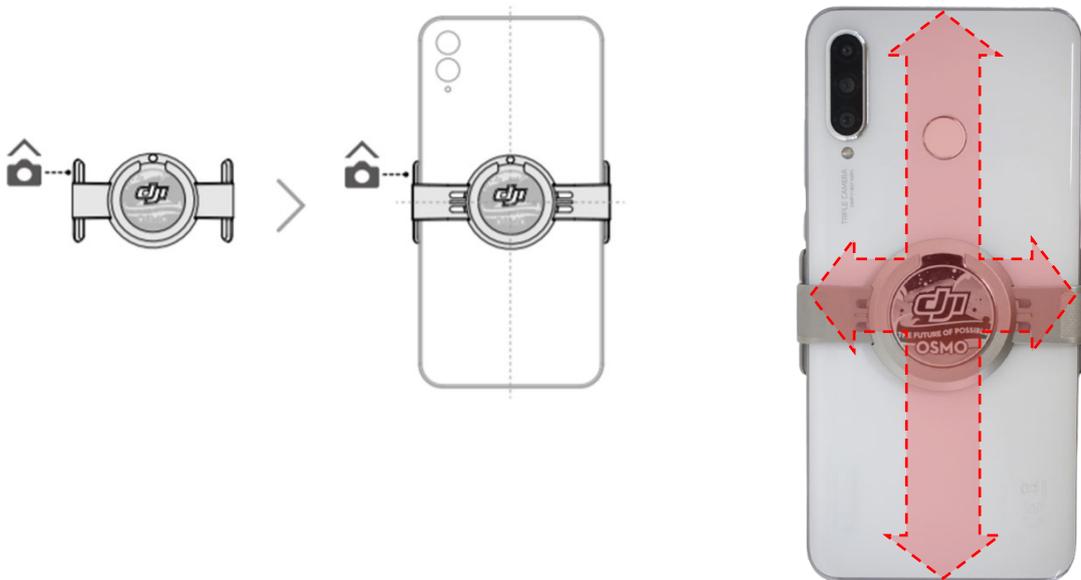
電源投入前にスマートフォンが取り付けられているか確認してください。

スマートフォンが取り付けられていない場合は、ジンバルがスタンバイモードになり、保持できません。

確認2

マグネットクランプがスマートフォンの中央に取り付けられているか確認してください。

スマートフォンの中央位置にクランプを取り付けていない場合、スマートフォンの自律保持・バランスが悪くなり、本来の性能を発揮できない恐れがあります。



上記実施後は、下図のように電源投入時、初回保持(スマホ縦固定)の状態まで手動でサポートし、それから電源を入れてみてください。



10.3. Gリポートの画面が表示されない

出荷時は G リポートのアプリケーションが自動的に表示されるため、すぐにお使いいただける状態になっております。

遠隔臨場システムのアプリが自動表示されない



正常な動作 : 遠隔臨場システムのアプリが自動で表示される



アプリ自動表示の設定手順

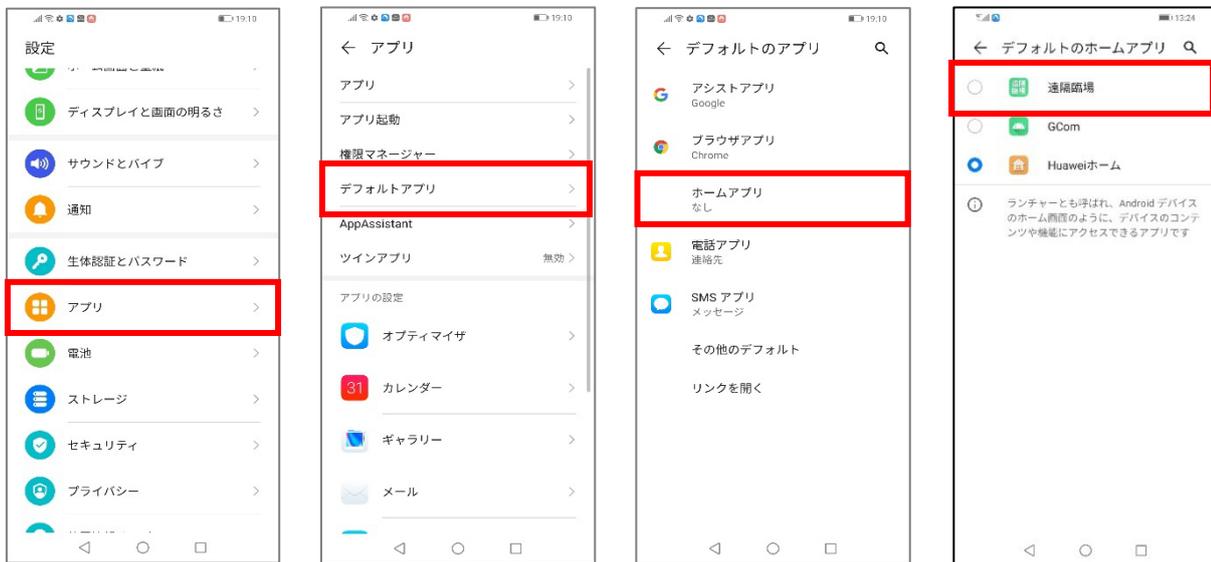
設定のアイコンをタップします。端末によりアイコンの形が変わります。

HUAWEI 製 P30Lite	OPPO 製 Reno3A	SONY 製 XPERIA10 シリーズ
		

※端末のアップデートによりアイコンのデザインが異なる場合があります。

HUAWEI 製 P30Lite の設定方法

[アプリ] → [デフォルトアプリ] → [ホームアプリ] → [遠隔臨場] (緑色のアイコン)



OPPO 製 Reno3A の設定方法

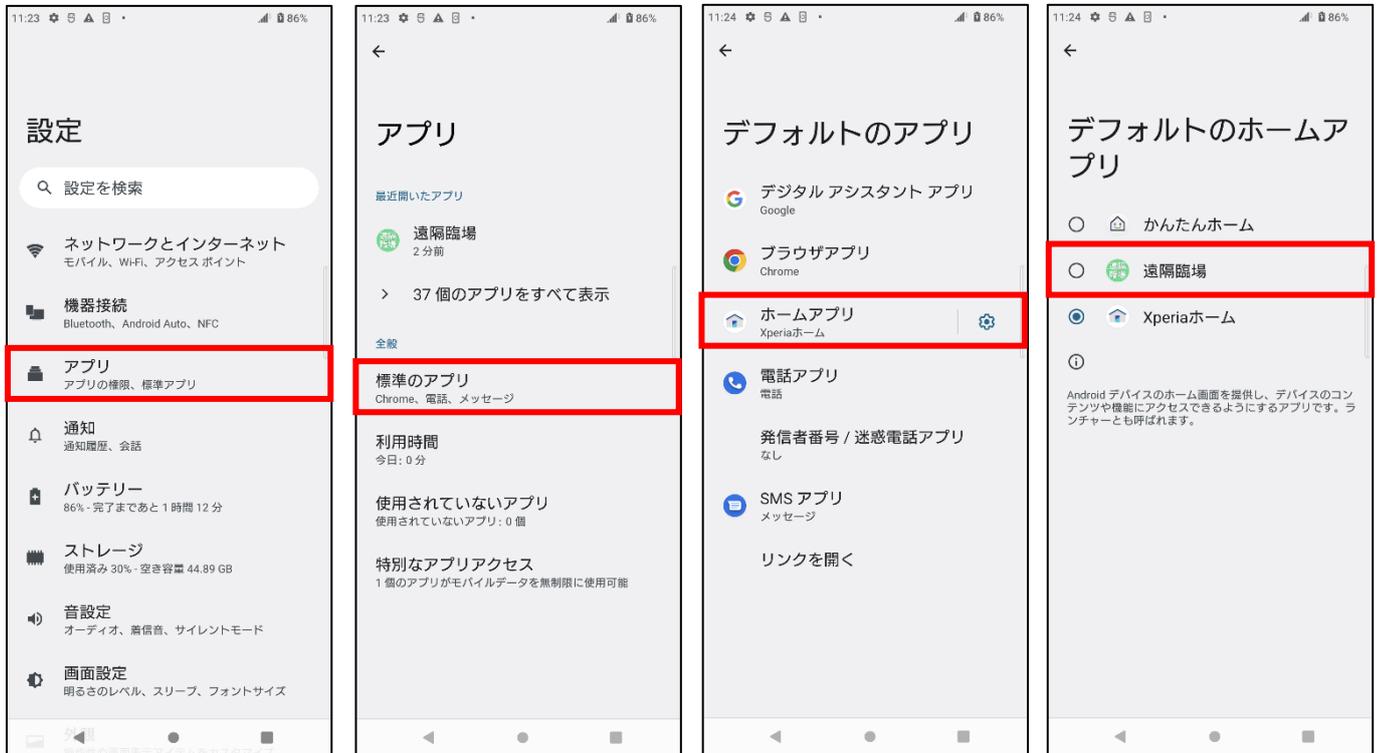
[アプリ管理] → [デフォルトのアプリ] → [ホームアプリ] → [遠隔臨場] (緑色のアイコン)



SONY 製 XPERIA10 シリーズの設定方法

[アプリ] → [標準のアプリ] → [ホームアプリ] → [遠隔臨場] (緑色のアイコン)

以上の手順で操作することで遠隔臨場のアプリケーションが自動表示されるようになります。



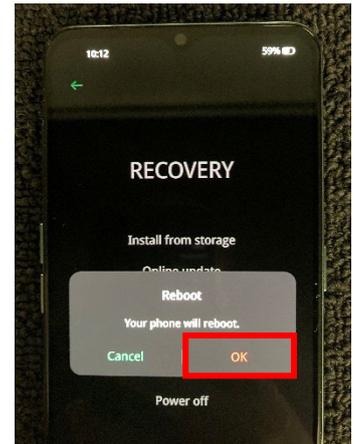
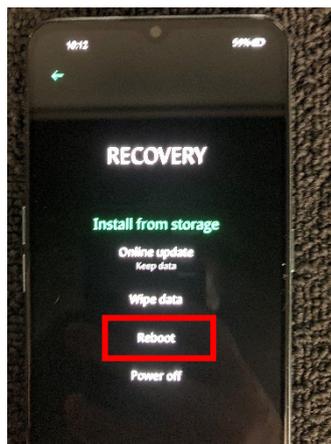
10.4. 「Select Language」画面が表示された

Gリポート端末電源を入れた後などに表示される場合があります。



この画面は、リカバリーモードと呼ばれる画面で、電源 ON する際に、「電源」ボタンと「音量↓」ボタンの両方を長押しした際に入るモードです。

【対応方法】



- ① 「Select Language」画面で電源ボタンを押します。
- ② 「RECOVERY」画面で、「Reboot」を選択します。
- ③ 確認画面が表示されますので、「OK」を選択します。
- ④ 通常モードで再起動されます。

10.5. トラブルシューティング

No	問題	対策
1	画質が低い。 カクカクする。	Gレポートは通信状況に合わせて画質とフレームレートを自動調節します。PC側の”解像度”を下げてみてください。
2	映像が止まった。	PC側の”解像度”を下げる、またはいったん接続を切り、再度通信接続をしてみてください。
3	現場の電波状況は悪くない 場所なのに画質が上がらない。	PC側の通信状況が悪い可能性があります。 PC側の”解像度”を下げてみてください。
4	Bluetooth がうまく つながらない。	現場の電波状況によって Bluetooth がうまくつながないことがあります。つながらないときはスマートフォンの再起動や Bluetooth イヤホンマイクの電源を入り切り・ペアリングモードにして、再度接続できるかお試しください。
5	臨場途中でジンバルの バッテリーが切れました。	スマートフォンをジンバルから外し、スマートフォン単体でお使いください。
6	使っていると高温になり 勝手にアプリが落ちたり 電源が切れてしまう。	気温が高いときや直射日光に当たり続けると、スマートフォンの保護機能が働いて警告が出ます。熱がこもらないように防水ケースを外してご使用下さい(雨天の使用厳禁)。また解像度を HD 画質でお使いの場合は、いったん使用を中止し熱を冷ましたのち、VGA サイズに解像度を下げてから使用してみてください。
7	Bluetooth イヤホンマイクを 使ったが、片方の音声しか 届かない・聞こえない。	Bluetooth イヤホンマイクが認識されていない可能性があります。 イヤホンマイクとスマートフォンとのペアリングは、 Gレポート⇄PC間の通信接続する前に行ってください。
8	録画を終了したのにタイマーが 止まらない。またはカウントがず れて表示されている。	接続デバイスの通信状況が悪く、互いの状態認識ができていないときに起こります。 一度接続を切り再接続を試みるか、通信環境の良い場所で接続しなおしてみてください。
9	ログインができるがスマートフォ ンの映像が PC に表示されない	いくつか原因があります。まずご利用 PC・デバイスにカメラが接続または内蔵されているかご確認ください(カメラがないとご利用できません)。その上でご利用ブラウザは Googlechrome・Edge・Opera であるかどうかをご確認ください。最後にブラウザ上でカメラ・オーディオ(マイク)が「許可」になっているかどうかご確認ください。
10	PC にスマートフォン側の映像 が映らない	いくつか原因があります。まずご利用のデバイスにカメラが内蔵または別途 USB カメラ等が接続されているかご確認ください。カメラがないデバイスでは Gレポートはご利用できません。 そのうえでご利用ブラウザが推奨ブラウザであるかどうかご確認ください。また通信速度が遅い環境下でも接続できない場合があります。

Gリポート

11	PC 側の解像度を変更できない	カメラ一覧画面にて、自動録画にチェックが入った状態では PC 側の解像度を変更できません。 自動録画のチェックを外し、解像度をご変更ください。
12	テスト画面表示にて、全て OK なのに映像が映らない。	ファイアーウォールによって通信プロトコルの一部が規制されている可能性があるため、必要な通信の一部ができない為に起きていると考えられます。 P77に記載された 通信先ドメイン名・ポート番号・プロトコルの通信が許可されているか再度ご確認ください。

おことわり

- (1)本取扱説明書記載以外の使用は行わないで下さい。
- (2)本取扱説明書の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- (3)本取扱説明書の内容は、改良のため予告なしに仕様などを変更することがあります。予めご了承下さい。
- (4)本取扱説明書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが当社までご連絡下さい。その際、取扱説明書改訂日付も併せてお知らせ下さい。



 製品・サービス導入のサポート

011-558-6601

お問い合わせ先

株式会社 GRIFFY

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2 丁目 12 番 6 号 内神田 OS ビル 7 階

カスタマーサポート TEL:011-558-6601

(受付時間 10:00~18:00 ただし土日、祝日は除く)

2025 年 8 月 8 日改訂